

96  
118

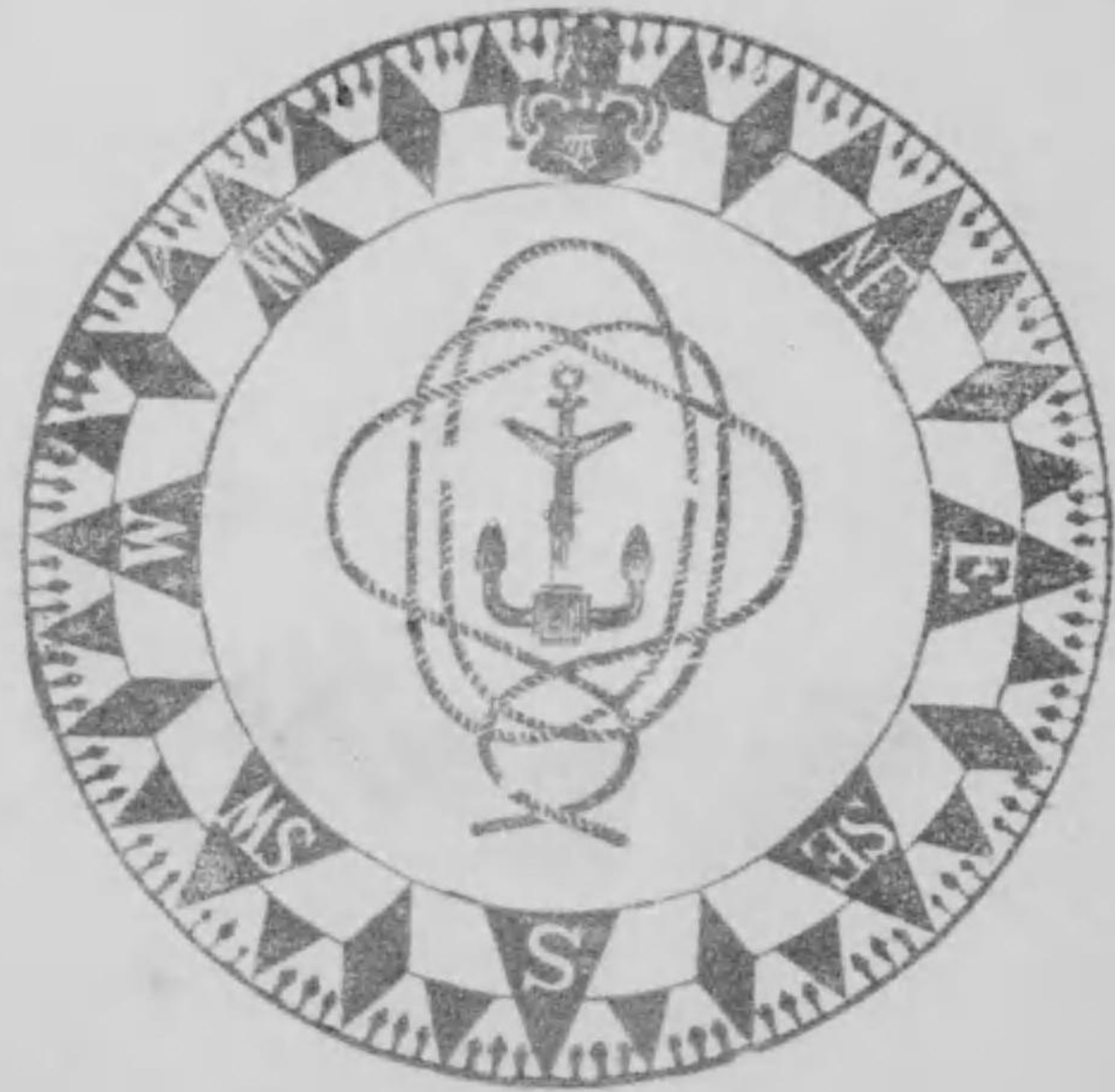
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

始



上海衝突豫防法

改講義問答版



大 阪  
中 山 海 士 學 館  
藏 版

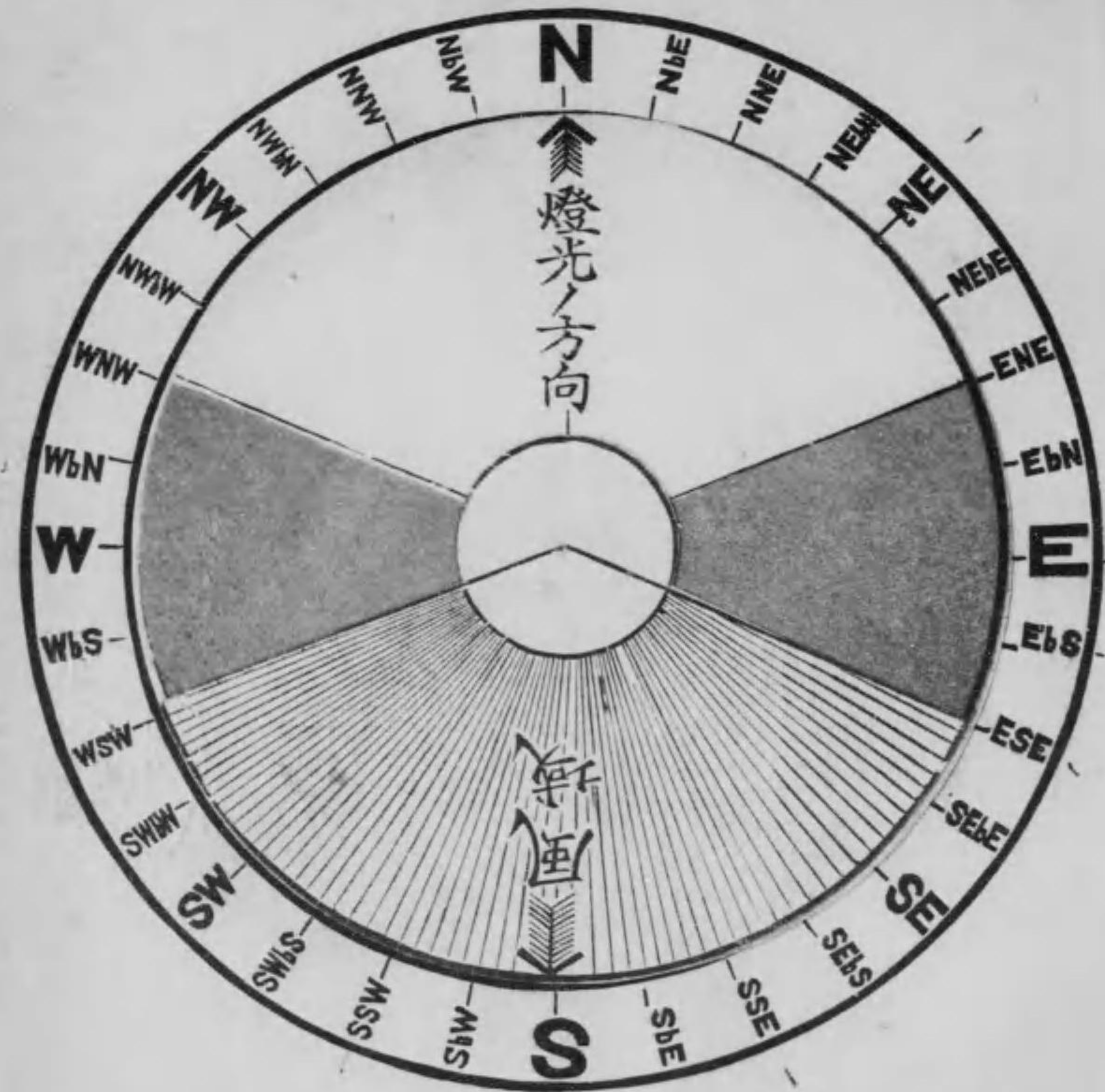
96-1181

中山智行著

改  
海上衝突豫防法講義

海士學館圖書部

大正  
6.4.16  
内交



船燈點操早見表

○此ノ圖ハ他船燈火ノ方位ニヨリ其船ノ航走スヘキ針路ノ區域ヲ容易ニ見出ス表ニシテ假令ハ  
 北東ニ當リ紅燈ヲ見タルトキハ燈光牌ノ矢符ヲ外周ノ北東ニ符合セシムレハ其船ノ航行區域ハ紅色ニ對スル北々西ヨリ南西ノ十點間ナリト知ルヘシ  
 若シ見タル燈火ハ帆船ノ紅燈ニシテ北西ノ風ヲ受ケ居ルモノトスレハ燈光牌ノ上ニ載セアル風域牌ノ矢符ヲ外周ノ北西ニ符合セシムレハ他船ノ航行區域ハ紅色ニ對スル南西ヨリ西南西ノ二點間ナリト知ルヘシ  
 例 東北東ノ風ヲ受ケ北ニ向ツテ航行中左舷船首ニ點ニ當リ帆船ノ綠燈ヲ見タルト假定セハ先ツ燈光牌ノ矢符ヲ北ノ左ノ二點即チ北々西ニ合セシメ次ニ風域牌ノ矢符ヲ外周ノ東北東ニ合セシムルトキハ綠色ニ對スル南々東ヨリ南東力他船ノ航行區域ナリ



海上衝突豫防法講義

目次

回總則	.....	一
回船燈	.....	四
回霧中信號	.....	六〇
回霧中速力	.....	六八
回航方	.....	六九
回航路信號	.....	八四
回懈怠ノ責	.....	八六
回特例	.....	八七
回難船信號	.....	八八
回附則	.....	九二

# 海上衝突豫防法問答

## 目次

本ノ法性質及ヒ實施	一	事變ノ爲メ運轉自由ヲ得ザル船ノ表示	三三
適用ノ範圍	一	海底電信工事ニ従事スル船舶ノ表示	三四
本法ノ効力	二	例 外	三七
船舶ノ區別	二	船燈識別	三七
航行ノ定義	三	霧中信號	四九
碇泊ノ船燈	一〇	航 方	五九
帆船航行中ノ船燈	一三	霧中兩帆船ノ出會	六五
汽船航行中ノ船燈	一九	霧中帆船ト汽船ノ出會	七二
曳船航行中ノ船燈	二二	帆船前面ニ方ル雜信號	七五
四十噸未満ノ小汽船航行中ノ船燈	二四	難船信號	七六
水先船ノ船燈	二五	霧中信號ニ對スル汽船ノ措置	七八
漁船ノ燈火	二八	航方ノ適用	八五
		兩帆船ノ出會	九〇
		汽船ノ出會	一〇五

# 海上衝突豫防法

【註】本法ハ海上ニテ船舶ノ衝突ヲ防ク爲メ制定シタル各國申合ノ共通規則ナリ

## 總 則

【註】總則トハ此豫防法ノ全体ニ關係スル前置ノ定メナリ  
 本法ハ海洋ト海洋接續ノ場所トヲ問ハス凡ソ海洋船舶ノ運航シ得ヘキ水上ニ於ケル船舶ニ適用ス

【註】此豫防法ハ海洋ハ云フマテモナシ海洋ニ續キタル所テモ外海ヲ運航スル船ノ通行スル水上ニアル一切ノ船舶ニ行フト云フ意ナリ

【二】  
本法中汽船ト雖モ帆ヲ以テ運轉シ汽力ヲ用井サルト  
キハ帆船ト看做シ汽力ヲ用ウルトキハ帆ヲ用フルト  
用井サルトノ別ナク汽船ト看做スベシ

【註】此規則デハ汽船ニテモ全ク蒸氣力ヲ用井ス帆ノミニテ  
動キ居ルトキハ帆船ト見做サレ帆船ノ規則ニ從ハネハナラ  
ヌ然レトモ若シ少シタリトモ蒸氣ヲ使用シ居ルトキハ專ラ  
帆ノ力ニテ動キ居ルモ帆船トハ看做サレヌ矢張り汽船ノ規  
則ニ從ハテハナラヌト云フ意ナリ

義汽船ノ定  
本法中汽船トハ凡ソ機關ノ作用ニ因テ運轉スル船舶  
ヲ謂フ

【註】此規則ニテ汽船ト云フトキハ其方法ノ如何ニ拘ラス機

關ノ作用ニテ動ク船ナラハ悉ク汽船ト看做スト云フ意ナリ  
本法中船舶航行中トハ碇泊若クハ繫留又ハ坐礁膠沙  
ニアラサル場合ヲ謂フ

【註】此規則ニテ船舶ガ航行中ト云フトキハ錨ヲ卸シテ碇泊  
シ網ヲ杭或ハ石杯ニ取リテ繫キタリ又ハ暗礁ニ乗揚ケ淺瀬  
ニ艘リ居ラス時ヲ指スモノナリ單ニ本文ヲ讀メハ碇泊繫留  
坐礁膠沙ノ場合ニアラサル外ハ凡テ航行中ト云フモノ、如  
ク見ラレ沙濱ニ建船ヲナシ又ハ上架修繕ノ船モ航行中ト云  
フカノ疑ヒ起リ本文盡サ、ル所アルガ如キ觀アレ共總則第  
一項ノ明文ニ水上ニ於ケル船舶ニ適用ストノ規定ナル故此  
項ノ明文ハ碇泊繫留坐礁膠沙ニアラスシテ水上ニアルト見

レハ穩當ナルヘシ

### 船燈

【四】

【註】船燈トハ本法ノ規定ニ遵ヒ夜間標示スヘキ燈ノコトニシテ本邦ニテハ船燈信號器救命具取締規則ニ合格ノモノヲ意味ス

一、船燈、信號器、救命具取締規則第一條 本則ニ於テ船燈ト稱スルハ電氣力ヲ以テ點火スル船燈ヲ除ク外海上衝突豫防法ニ記載スル各種ノ船燈ヲ謂ヒ云々

一、船燈、信號器、救命具試験檢定規程第一條 舷燈、橋燈及兩色燈ヲ分チテ甲乙ノ二種トス

甲種舷燈ハ 海上衝突豫防法第二條第二號及第三號

甲種橋燈ハ 同條第一號

乙種舷燈ハ 同法第七條第一號乙前段

乙種橋燈ハ 同號甲

甲種兩色燈ハ 同號乙後段

乙種兩色燈ハ 同條第三號ニ掲グルモノヲ云フ

光達ノ標

本法中船燈ニ關シテ見得ルトハ晴天ノ暗夜ニ於テ認メ得ルヲ謂フ

【註】此規則ニテ船燈カ何海里ノ距離ヨリ見得ルトアルハ晴天ノ暗夜ニ健全ナル尋常ノ肉眼ニテ見得ヘキ程度ヲ云ヒタルモノナリ

點燈ノ制

第一條 船燈ニ關スル規定ハ天氣ノ如何ニ關セス日没ヨリ日出マテ必ス遵守スベシ此ノ時間中ハ本法ニ定メタル船燈ノ外之ニ紛レ易キ燈ヲ掲クヘカラ

【五】



【註】此規則中船燈ニ就テ定メラル事柄ハ如何ナル天氣ノトキデモ日ノ入ヨリ翌朝日ノ出マテノ間堅ク守ルヘキモノニテ又其時刻ノ間ハ此ノ規則ニ定メテアル燈火ノ外紛ワシキ他ノ燈火ヲ標示スルコトハ決シテナラス

汽船ノ航

第二條

汽船ハ航行中必ス左ノ燈ヲ掲クヘシ

【註】蒸汽船夜中航行ノ折リハ是非トモ次ノ各項ニ定メタル燈火ヲ標示シ置カネバナラス

橋燈

一 前橋若ハ其前面ニ於テ又ハ前橋ヲ具ヘサルトキハ本船ノ前方ニ於テ船体上二十尺ヨリ低カラサル所ニ若船幅二十尺ヲ超ユルトキハ其船幅ヨリ

低カラサル所ニ亮明ノ白燈一個ヲ掲クヘシ然レトモ船体上四十尺以上ノ所ニ掲クルヲ要セス此燈ハ常ニ不同ナキ光ヲ發シテ鍼盤ノ二十點間ヲ照スヘク製造シ其射光ヲ左右舷外へ十點間ツ、即チ船ノ正首ヨリ各舷正横後ノ二點マテ及フヘキ様装置シ且少クモ五海里ノ距離ヨリ見得ヘキモノヲ用ウヘシ

【註】此第一項ハ汽船航行中橋頭ニ標示スル橋燈ノ高サ其製造及ヒ射光光達等ノ定ナリ此橋燈ハ前橋又其前面若シ前橋ヲ具ヘサルトキハ船ノ前ノ方ニ於テ其高サハ前部ノ船体上二十尺ヨリ低クナク若船幅二十尺以上ノ大船ナレハ其船幅

ヨリ低カラヌ所ニ掲クル様ナスヘシ併シ四十尺ヨリ高クス  
 ルニ及ハス此燈ハイツモハツキリトアカルク光リ其射光ハ  
 鐵盤ノ二十點間ヲ照スヘキ様製造シタルモノニテ船燈信號  
 器救命具試験檢定規程ニ合格ノモノニシテ其裝置ハ正首ヨ  
 リ左右ヘ十點ツ、即チ左右正横後ノ二點迄各舷ヘ十點ツ、  
 照シ晴レタル暗夜ニ五海里以上ノ遠方ヨリ見ユル様ナシ置  
 クヘキナリ

船燈檢定規程第四節甲種燈

- 第三十九條 燈籠ノ大サハ第二十四條ノ規定ニ準スヘシ
- 第四十條 透鏡ノ横截内面ノ角度ハ二百四十度以上、其高ハ半徑ノ長ヨリ少カラザルヲ要ス
- 第四十一條 火口ノ大サハ第二十九條ノ規定ニ依ルヘシ
- 第四十二條 反射鏡ノ横截内面ハ百二十度以上ノ角度ヲ有スルモノナ  
 ルヲ要ス

二右舷ニ綠燈ヲ掲クヘシ此燈ハ常ニ不同ナキ光ヲ  
 發シテ鐵盤ノ十點間ヲ照スヘク製造シ其射光ヲ  
 船ノ正首ヨリ右舷正横後ノ二點マテ及フヘキ様  
 裝置シ且ツ少クモ二海里ノ距離ヨリ見得ヘキモ  
 ノヲ用ウヘシ

【註】此第二項ハ船ノ右舷側ニ標示スヘキ燈ノ製造裝置及ヒ  
 射光到達等ノ定メニテ其燈ハイツモ變ラヌ綠色ノ「ランプ」ニ  
 テ其製造ハ鐵盤ノ十點間ヲ照スヘキ様ニ造リ船燈檢定規程  
 合格ノモノニシテ其レヲ据附クルニハ船ノ正首ヨリ右舷正  
 横後ノ二點マテ即チ十點間ヲ照ス様ニナシ其光ハ晴レタル  
 暗夜ニ二海里以上遠方ヨリ見ユル様ニナシ置クナリ

三 左舷ニ紅燈ヲ掲クヘシ此燈ハ常ニ不同ナキ光ヲ發シテ鉞盤ノ十點間ヲ照スヘク製造シ其射光ヲ船ノ正首ヨリ左舷正横後ノ二點マテ及フヘキ様装置シ且少クモ二海里ノ距離ヨリ見得ヘキモノヲ用ウヘシ

【註】此第三項ハ左舷側ニ標示スヘキ燈ノ製造裝置及ヒ射光光達等ノ定メナリ其燈ハイツモ變ラヌ紅色ノ「ランプ」ニテ其製造ハ鉞盤ノ十點間ヲ照ス様造リ檢定規程第二節ニ合格シタル者ニテ其レヲ据附クルニハ船ノ正首ヨリ左舷正横後ノ二點マテ十點ノ間ヲ照スヘキ様ニナシ光リハ晴レタル暗夜ニ二海里以上ノ遠方ヨリ見エル様ニナシ置クナリ

檢定規程第二節甲種舷燈

- 第二十四條 燈籠ノ後面及ヒ側面ノ幅ハ各七寸五分以上其高ハ煙筒ヲ除キ九寸二分以上ナルヲ要ス
- 第二十五條 透鏡ノ横截内面ハ百二十度以上ノ角度ヲ有シ其高ハ半徑ノ長ヨリ少カラサルヲ要ス
- 第二十六條 透鏡ハ船燈カ水平面ヨリ上下ニ各二十度傾斜スルモ一海里ノ距離ヨリ燈光ヲ見得ヘキ曲率ヲ有スルヲ要ス
- 第二十七條 燈窓ニ無色透鏡ヲ使用スルトキハ透鏡ノ内面ニ接シ紅色又ハ綠色ノ瓦質ノ硝子ヲ挿入スヘキ裝置ヲ設クルヲ要ス
- 第二十八條 前條ニ掲クル著色硝子ノ角度及高ハ第二十五條ノ規定ニ依ルヘシ
- 第二十九條 火口ハ石油ヲ使用スルトキハ幅八分以上ノ平燈心又ハ徑八分以上ノ輪形燈心、種油ヲ使用スルトキハ幅一寸五分以上ノ平燈心又ハ徑一寸五分以上ノ輪形燈心ヲ挿入シ得ヘキ適當ノ大サナルヲ要ス
- 第三十條 火口ハ幅八分ノ平燈心ヲ使用スルトキハ船ノ首尾線ニ直角

【一二】

ニ据ユルヲ要ス又幅八分以上ノ平燈心ヲ使用スル場合ニ於テ心ノ  
兩端ヨリ首尾線ニ直角ヲ爲ス二線ノ差ヲ八分以上一寸六分以下ト  
爲ストキハ火口ヲ首尾線ニ斜ニ据ユルモ妨ナシ

第三十一條 火口ヲ船ノ首尾線ニ直角ニ据ユルトキハ其ノ内端ヨリ又  
斜ニ据ユルトキハ其後端ヨリ船ノ正横後二點ノ方位ニ引キタル線  
ハ透鏡ノ留金ノ前線ヲ觸過スルヲ要ス

第三十二條 反射鏡ノ大サハ透鏡内面ノ諸點ヨリ燭ノ最輝點ヲ通シ  
テ引キタル線ヲ總テ反射鏡面ニ受ケシムルニ充分ナルヲ要ス

四本條第二項第三項ノ舷燈ニハ其燈ヨリ前ニ少ク

モ三尺突出シタル隔板ヲ其燈ノ内側ニ裝置シ右  
舷ノ綠光ハ左舷ニアル船ヨリ左舷ノ紅光ハ右舷  
ニアル船ヨリ見得サル様ニナスヘシ

【註】此項ハ船ノ左右舷側ニ表示スル燈ヲ据附クヘキ隔板ノ

定メナリ其隔板ハ船舶検査規程第六十六條ニ依リ燈火ヨリ  
前方へ三尺以上突出シタル屏風様ノ圍井板ニテ舷燈ノ射光  
ヲ界限シテ右舷ノ綠光ハ左舷ニアル船ニ見エス又左舷ノ紅  
光ハ右舷ニアル船ニ見エサル様ニ之ヲ兩舷側ニ取附テ其レ  
ニ舷燈ヲ据附ケ標示スルナリ

船舶検査規程第六十六條

舷燈ノ隔板ハ左ノ規定ニ從ヒ燈心ヨリ三尺以上前方ニ突出スヘキ長サ  
ニ作り之レヲ船舷若ハ其他ノ固定物ニ取附クヘシ

一、 隔板ノ縱線ハ船ノ首尾線ニ並行ナルコトヲ要ス  
二、 隔板ニ隔障ヲ取附クルトキハ隔障ノ外端ヨリ透鏡ノ前部ノ内線ヲ  
貫キ燈心又ハ電燈ノ燈線ノ内端ニ引キタル線ハ船首尾線ニ並行ナ  
ルコトヲ要ス

燈塔ヲ取附クル規定ハ前規程第六十七條ニ依ル左ノ如シ

一、 燈塔ノ窓ノ幅ハ射光角度百十二度半以上ヲ照ラシ得ヘキモノナル

【一三】

ナ要ス

- 二、燈塔ノ窓ニハ無色透明ナル硝子ヲ使用スヘシ
- 三、燈塔ノ窓ニ使用スル硝子ハ二枚以上ノ板ヲ以テ組成スルトキハ堅線ト四十五度ノ角度ニ於テ斜ニ繼合セ其ノ棧ノ幅ハ八分ノ三吋ヲ超ユヘカラス但二箇以上ノ燈心ヲ備フル燈塔内ニ使用スルトキハ棧ノ幅ヲ増加シ且其ノ角度ヲ減少スルコトヲ得
- 四、燈塔内ニ使用スヘキ燈塔ハ成規ノ光達距離ノ最小限ヨリ優等ナル光力ヲ有スルモノナルヲ要ス
- 五、燈塔ニハ隔板ト焔穗トノ位置ヲ検査シ得ヘキ爲メ徑一吋半以上ノ孔ヲ穿ツヘシ

【一四】

五 汽船航行中ハ本條第一項ニ規定シタル白燈ノ外ニ同種ノ白燈一箇ヲ増掲スルヲ得但シ此場合ニ於テハ其兩燈ヲ龍骨線上前後ニ隔テ其前燈ヲ後燈ヨリ少クモ十五尺下方ニ掲ケ其前後ノ距離ハ

上下ノ距離ヨリモ多キヲ要ス

【註】汽船航行中船首ノ變轉ヲ早ク他船ニ目立タス爲メ本條第一項ニ定メタル白燈ト同シ白燈一個ヲ増掲スルハ差支ナシ併シ若シ其レヲ掲クルナレハ一項ノ規定ニ遵テ掲ケアル燈ノ上カ下カニ十五尺以上離シテ船ノ首尾線上ニ於テ上下ノ間隔ヨリモ多ク前後ニ離シテ標示スヘキナリ換言スレハ兩燈ヲ龍骨線上ニ於テ直達ニ相對シ前燈ハ後燈ヨリモ十五尺以上低ク前後ノ間隔ハ上下ノ間隔ヨリ多クナシ置クヘキナリ

第三條 汽船他船ヲ引キテ航行スルトキハ兩舷燈ヲ掲クルノ外ニ白燈二個ヲ上下ニ少クモ六尺ヲ隔テ

【一五】

【一六】  
連掲スヘシ此白燈ハ第二條第一項ノ白燈ト同一ノ構造ニシテ且同一ノ場所ニ掲クルヲ要ス然レトモ二艘以上ヲ引キテ航行スルトキハ其引キタル船ノ船尾ト最後ニ引カル、船ノ船尾トノ距離六百尺以上ノ場合ニ於テハ右二個ノ白燈ヨリ上方若ハ下方六尺ノ所ニ尙同種ノ白燈一個ヲ増掲スヘシ

【註】此條ハ曳船汽船ノ表示スル燈火ノ規定ニテ汽船夜間他船ヲ曳キ航行スルトキハ汽船ノ橋燈ト同シ種類ノ白燈二箇ヲ三十尺以上四十尺以下ノ所ニ少ナクモ六尺以上ノ間隔ヲ以テ縦行連掲シテ獨走ノ汽船ト區別スヘシ若シ曳船カ二艘以上ヲ曳キ其ノ曳ク船ノ船尾ト最後ニ曳カル、船ノ船尾ト

ノ距離カ六百尺以上アルトキハ白燈三箇ヲ矢張り六尺以上ノ間隔ヲ以テ縦ニ連掲シテ長距離ヲ曳船ヲナシ居ルコトヲ示スヘシ

本條ノ引船ハ引カル、船舶ノ操舵目標トシテ烟突若ハ後檣ノ後面ヘ小形ノ白燈一箇ヲ掲クルヲ得但シ此白燈ハ本船正横ヨリ前面ニ見得サル様ニ爲スヲ要ス

【註】曳ク船ニ於テ曳カル、船ノ舵ヲ操ル便利ヲ計リ其目標トシテ小ナル白燈ヲ烟出シ若クハ艦ノ橋ノ後面ニ吊置キテモ差支ナシ若シソレヲ掲クルナレハ其白燈ハ真横前ニ見得ヌ様ニ表示シ置クヘシ

第四條 事變ノ爲運轉自由ヲ得サル船舶ハ夜間ニア

リテハ第二條第一項ニ規定シタル白燈ト同一ノ高  
 サニ於テ最モ見得易キ所ニ(汽船ナレハ其ノ白燈ノ  
 代リニ)二箇ノ紅燈ヲ上下ニ少クモ六尺ヲ隔テ連掲  
 スヘシ此紅燈ハ周回少クモ二海里ノ距離ヨリ見得  
 ヘキモノタルヲ要ス又晝間ニアリテハ最モ見得易  
 キ所ニ直徑二尺ノ黒球若ハ黒色ノ形象二個ヲ上下  
 ニ少クモ六尺ヲ隔テ連掲スヘシ

【註】本條ハ出來事ノ爲メ運轉自由ナラス他船ト接近スルモ  
 此規則ニ遵ヒ航路ヲ避クルコトノ出來ヌ船カ標示スル信號ノ  
 定メナリ其信號ハ夜間ナレハ汽船ハ橋燈ヲ引下ケ其代リニ  
 帆船ハ汽船ノ橋燈ヲ掲クヘキ所ニ紅色ノ別種船燈二個ヲ六

尺以上ノ間隔ヲ以テ縦ニ連掲シテ晴レタル暗夜ニ四方ニ海  
 里以上ヨリ見ユル様ナシ置クヘシ又晝間ナレハ見易キ處ニ  
 直徑二尺ノ黒球若ハ黒キ丸形ノモノ二個ヲ六尺以上ノ間隔  
 ニシテ縦ニ連掲シテ標示スヘシ

海底電信線ノ布設又ハ引揚ニ從事スル船舶ハ夜間ニ  
 アリテハ第二條第一項ニ規定シタル白燈ノ位置ニ於  
 テ(汽船ナレハ其白燈ノ代リニ)三個ノ燈ヲ上下ニ少クモ  
 六尺ツ、ヲ隔テ連掲スヘシ但シ此ノ燈三個ノ内上下  
 ノ二個ハ紅色中央ノ一個ハ白色ニシテ周回少クモ二  
 海里ノ距離ヨリ見得ヘキモノタルヲ要ス又晝間ニア  
 リテハ最モ見得易キ所ニ直徑二尺以上ノ形象三個ヲ

上下ニ少クモ六尺ツ、ヲ隔テ連掲シ其上下ノ二個ハ  
紅色球形ヲ用井中央ノ一個ハ白色豎菱形ヲ用ウヘシ

【註】此ノ項ハ海底ノ電信索引揚ケ又ハ布設ニ從事シ居ル船  
カ標示スヘキ信號ノ定メニテ其信號ハ夜間ナレハ紅白紅ノ  
三個ノ燈ヲ六尺以上ノ間隔ニナシテ縦ニ連ネ掲ルナリ其場  
所ハ汽船ナレハ白燈ヲ卸シテ其代リニ帆船ナレハ二十尺以  
上四十尺以下ノ處ニ掲ケ晴天ノ暗夜ニ少クモ二海里四方ヨ  
リ見ユル様ナシ置クヘシ又晝間ナレハ直徑二尺以上ノ紅球  
ヲ上下ニナシ其中央ニ白色ノ豎菱形ノモノヲ挟ミ都合三個  
ノ形象ヲ互ニ六尺以上ノ間隔ヲ以テ縦ニ連ネテ吊リ周回諸  
方ヨリ能ク見得ル様標示スルナリ

本條ノ船舶全ク運行セサルトキハ舷燈ヲ掲クヘカラ  
ス然レトモ運行スルトキハ必ス之ヲ掲クヘシ

【註】此項ハ運轉自由ヲ得ス又ハ海底電信布設若ハ引揚ニ從  
事シ居ル船全ク動カシ居ラストキハ舷燈ヲ掲クルニ及ハサ  
レトモ少シタリトモ動クトキハ必ス舷燈ヲ掲ケ置ネハナラ  
ス爰ニ運行ト云フハ推進器又ハ他ノ手段ニヨリ動カシ居ル  
場合ニテ潮流ヤ風ナトニ押シ流レ居ル場合ヲ云フモノニア  
ラス

本條規定ノ燈及形象ハ運轉自由ヲ得スシテ他船ノ航  
路ヲ避クル能ハサルノ信號ト認ムベシ

【註】此條ニ定メタル信號ハ運轉自由ナラヌ爲メ規則ニ遵ヒ



【二二】 他船ノ航路ヲ避ケ替ス事カ出来ヌト云フコトヲ他船ニ知ラセ  
ル合圖ナリ

本條ノ信號ハ難船信號ト混同スヘカラス難船信號  
ハ第三十一條ニ於テ之ヲ規定ス

【註】此條ノ信號ハ救助ヲ求ムル難船信號トハ全ク別物デア  
ル難船信號ハ本法第三十一條ニ定メテアルニヨリ混同シテ  
ハナラヌト云フ意ナリ

第五條 航行中ノ帆船及他船ニ引カレテ運行スル船  
舶ハ第二條第二項第三項ノ舷燈ノミヲ掲クヘシ決  
シテ同條第一項ノ白燈ヲ掲クヘカラス

【註】獨走スル帆船ト他船ニ曳カル、凡テノ船（汽船テモ帆

船デモ）ハ皆一樣ニ舷燈ノミヲ掲ケテ他ノ燈ヲ掲テハナラ  
ヌ

第六條 小形船航行中天氣ノ模様ニ因リ綠紅ノ二舷  
燈ヲ掲置キ難キトキハ何時ニテモ使用シ得ベキ様  
點火シテ之ヲ手近カニ備ヘ置キ他船ノ我船ニ近寄  
リ來ルカ又ハ我船ノ他船ニ近寄行クトキハ衝突ヲ  
防クニ充分ナル時間ヲ見定メテ其舷燈ヲ他船ヨリ  
最モ見得易キ様各舷ニ表示スヘシ但シ此ノ時綠光  
ハ左舷ヨリ紅光ハ右舷ヨリ見得ス且ツ成ルベク各  
舷正横後ノ二點ヨリ後方ヘ見得サル様ニ爲スヲ要  
ス

【註】此條ハ小形ノ船時化高浪ノトキ杯兩舷燈ヲ舷外ニ標示シテ置カレヌ場合アルヘシ然ルキハ其舷燈ニ火ヲ点シテ手近ニ構ヘ置キ他船カ我船ニ近寄來ルカ我船カ他船ニ近寄リ行クトキハ衝突ヲ防クニ充分ナル間合ヲ見計ラヘ他船ニ能ク見ユル様ニ差出シテ見スルナリ此時右舷ノ綠光ハ左舷ニ左舷ノ紅光ハ右舷ニ見得ヌ様又正横後ニ點以後ニモ見ヘサル様ニ注意スヘキナリ

此綠紅ノ各燈ヲ間違ヒナク容易ニ取扱フ爲メ綠燈ハ綠色紅燈ハ紅色ニテ外面ヲ塗り且ツ適當ノ隔板ヲ備置クヘシ

【註】斯ノ如キ場合ニ使用スル「ランプ」ハ忽卒ノ際手際早ク取

扱フモノナルニヨリ間違ナク容易ク取扱ヒ得ル爲メ豫メ「ランプ」ノ外面ヲ綠燈ハ綠色ニ紅燈ハ紅色ニ塗り尙ホ適當ナル隔板ヲモ装置シ置クヘシ

第七條 總積量四十噸未滿ノ汽船總積量二十噸未滿帆船及擲權ヲ以テ運轉スル船航行中ハ必スシモ第二條第一項第二項第三項ニ規定シタル燈ヲ掲クルヲ要セス然レトモ若シ之ヲ掲ケサルトキハ必ス左ノ規定ニ依ルヘシ

【註】此條ハ總噸數四十噸ニ滿タサル汽船ト總積量二十噸ニ滿タサル帆船及ヒ擲權ヲ用テ運轉スルヲ目的トスル小船航行中ハ是非トモ前ノ第二條第一項ノ橋燈第二項第三項ノ舷

燈ヲ掲クルニハ及ハス併シ若シ其レヲ掲ケサルトキハ次ノ  
定メ通りノ「ランプ」ヲ掲クヘキナリ

一 四十噸未滿ノ汽船

【註】總噸數四十噸ニ足ラヌ小蒸汽船ニハ次ノ規程ニ依ルヘ  
キヲ示セリ

甲 船ノ前部又ハ煙突若ハ其前面ニ於テ舷縁上

九尺ヨリ低カラス且最モ見得易キ所ニ第二條  
第一項ニ規定シタル構造裝置ニシテ少クモ二  
海里ノ距離ヨリ見得ヘキ白燈一個ヲ掲クヘシ

【註】總噸數四十噸ニ足ラヌ小蒸汽船カ夜間航行中前面ニ標  
示スヘキ白燈ノ定ニテ其白燈ハ前第二條第一項ノ構造ノモ

ノニテ船ノ前部或ハ煙突ノ前面ニ於テ舷縁上九尺ヨリ低カ  
ラス様ニ掲ケ晴天ノ暗夜ニ二海里以上ヨリ見得ヘクナシ置  
クヘシ

乙 第二條第二項第三項ニ規定シタル構造裝置  
ニシテ少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキ綠紅  
ノ二舷燈ヲ掲クルカ又ハ船首ヨリ各舷正横後  
ノ二點マテ右舷ハ綠色左舷ハ紅色ノ射光ヲ及  
スヘク製造シタル兩色燈一個ヲ掲クヘシ但シ  
此ノ燈ハ白燈ヨリ少クモ三尺下方ニ掲クルヲ  
要ス

【註】前第二條第二項第三項ニ規定シタル普通ノ舷燈ヲ晴天

【二八】  
暗夜ニ少クモ一海里以上ヨリ見ユル様ニ各舷ニ標示シ置ク  
カ又ハ船首ヨリ左右正横後ノ二點マテ右舷ハ綠色左舷ハ紅  
色ノ光リヲ發スル様製造シタル兩色燈一個ヲ標示シ置クヘ  
シ

但シ此兩舷燈或ハ兩色燈ヲ標示シ置クニハ前面ノ白燈ヨリ  
ハ少クモ三尺下ニ離シテ掲ケ置クヘシ

二 汽艇ハ第一項甲ノ白燈ヲ舷縁上九尺ノ所ヨリ  
下方ニ掲クルヲ得然レトモ其白燈ハ乙ノ兩色燈  
ヨリ高キヲ要ス

【註】此項ハ「ステーム、ランチ」「ステーム、ボート」等ノ船燈  
ヲ定メタルモノナリ左様ナル小蒸汽船ニテハ船体至テ小ナ

ル故橋ナトヲ備ヘサル爲メ第一項ニ遵ヒ白燈ヲ九尺以上ニ  
掲クルコノ出來ヌモノ往々アルヘシ夫等ノ小船ニテハ九尺  
以下ノ所ニ掲クルモ差支ナシ併シ其白燈ハ乙號ノ兩色燈ヨ  
リ高クナシ置クヘシ

三 二十噸未滿ノ帆船ハ帆ヲ用ウルト擲權ヲ用ウ  
ルトニ拘ハラズ一面ハ綠色一面ハ紅色ノ玻璃ヲ  
用井タル燈籠一個ヲ手近カニ備置キ他船ノ我船  
ニ近寄り來ルカ又ハ我船ノ他船ニ近寄り行クト  
キハ衝突ヲ防クニ充分ナル時間ヲ見定メテ之ヲ  
表示スヘシ但シ此ノ時綠光ハ左舷ヨリ紅光ハ右  
舷ヨリ見得サル様ニ爲スヲ要ス

【註】此項ハ總積量二十噸ニ足ラヌ小サキ帆船ノ船燈表示方  
ノ定メナリ斯ノ如キ小ナル帆船ハ帆ヲ掛ケテ居テモ機權ヲ  
以テ漕キ居ルトキテモ同シ様ニ「ランプ」一箇ニテ一面ハ緑  
色一面ハ紅色ノ玻璃ヲ嵌メテ製造シタル両色ノ燈籠ニ點火  
シテ手近ニ構ヘ置キ他船カ我船ニ近寄ルカ我船カ他船ニ近  
寄り行クトキ衝突ヲ防クニ充分ト思フ間合ヲ見計ラヒ之ヲ  
差出シテ示スヘシ此時ハ緑ノ光ハ左舷ヨリ紅ノ光リハ右舷  
ヨリ見得ヌ様注意スヘシ

四

機權ヲ以テ運轉スル船ハ機權ヲ用ウルト帆ヲ  
用ウルトニ拘ラヌ白色ノ燈籠一個ヲ手近ニ備置  
キ衝突ヲ防クニ充分ナル時間ヲ見定メテ臨時之

ヲ表示スヘシ

【註】此項ハ機權ヲ用テ運行スルトキモ帆ヲ掛テ走り居ルト  
キテモ兩舷燈モ両色燈モ掲クルニ及ハス單ニ檢定規程第六  
十五條ニ依ル白色ノ燈籠一箇ヲ手近ニ備置キ衝突ノ危険ア  
ル場合ニハ充分避ケラル、間合ヲ見定メテ其都度之ヲ差出  
シテ見セ示スヘシ

檢定規程

第六十五條 水先船用白燈及ヒ機權船用白燈ハ第五十八條及ヒ第五十  
九條ノ規定ニ依ルヘシ

第五十八條 燈籠ニハ徑六寸以上ノ圓筒形透鏡若ハ徑七寸以上ノ球形  
硝子ヲ使用スルヲ要ス透鏡ノ高ハ第二十五條ノ規定ニ依ルヘシ

第五十九條 火口ノ大サハ第三十六條ノ規定ニ依ルヘシ

第二十五條 (既出)

第三十六條 火口ハ石油ヲ使用スルトキハ幅五分以上ノ平燈心又ハ燈  
五分以上ノ輪形燈心、種油ヲ使用スルトキハ幅一寸以上ノ平燈心  
又ハ徑一寸以上ノ輪形燈心ヲ挿入シ得ヘキ適當ノ大サナルヲ要ス

本條ノ諸船ハ第四條第一項及第十一條末項ノ燈ヲ  
掲クルニ及ハス

【註】第七條ノ各項ニ掲ケタル小形ノ船テハ大船ノ通行スル  
航路最寄ニ乗揚クルコトアルヘキニアラス又運轉自由ヲ得  
サル標示ヲ掲クルコトノ出來サルモノモアルヘキニ依リ敢  
テ掲クルニ及ハヌト云フ意ナリ然シ掲クルコトカ出來得ル  
ナラハ掲クルハ一向差支ナキ譯テアルト云フコトナリ

第八條 水先船水先業務ノ爲メ其ノ營業所ニアルト  
キハ他船ニ要スル燈ヲ表示セス周回ヨリ見得ヘキ

白燈一個ヲ檣頭ニ掲ケ且十五分時ヲ超エサル短時  
ノ間隙ヲ以テ閃火一個若ハ數個ヲ發スヘシ

【註】此條ハ水先船カ夜間表示スル燈火ノ定ニシテ其燈ノ點  
シ方ハ四方ヨリ見エル白色ノ燈一ツヲ檣ノ上ニ掲ケ其外十  
五分時ヨリ短キ間合ニ一寸ノ火ノ光リヲ一ツ又ハ二ツモ三  
ツモ續ケテ光ラスヘシト云フ意ナリ

水先船ニハ點火シタル舷燈ヲ用意シ置キ他船ノ我  
船ニ近寄り來ルカ又ハ我船ノ他船ニ近寄り行クト  
キハ我船ノ進行スル方向ヲ示ス爲メ短時ノ間隙ヲ  
以テ之ヲ表示スヘシ但シ此ノ時綠光ハ左舷ヨリ紅  
光ハ右舷ヨリ見得サル様ニ爲スヲ要ス

【註】水先船ニハ前ノ定メノ外、火ヲ點シタル舷燈ヲ構ヘテ置  
キテ他船ノ我船ニ近寄り來ルカ自分ノ船カ他船ニ近寄り行  
クトキハ自分ハドチラニ進行シ行クカヲ他船ニ知ラス爲メ  
チヨツト光ラシテ見スルナリ此時ハ緑ノ光リハ左舷ニ見エ  
ス紅ノ光リハ右舷ニ見エヌ様ニ注意シテ取扱フヘシトノ意  
ナリ

水先人ヲ要招スル船舶へ直付ケスヘキ水先船ハ白  
燈ヲ檣頭ニ掲クル代リニ隨時之ヲ表示シ又前項ノ  
舷燈ノ代リニ一面ハ綠色一面ハ紅色ノ玻璃ヲ用井  
タル燈籠一個ヲ手近カニ備置キ前項ノ規定ニ依リ  
之ヲ使用スルヲ得

【註】水先人ヲ求ムル船舶へ水先人ヲ送り着クル小船ハ白燈ヲ  
檣ノ上ニ表示シ置カスニ適宜ニ顯シテ見スレハヨシ又舷燈  
ノ代リニ一方ハ綠色一方ハ紅色ノ玻璃ヲ張りタル燈籠一ツ  
ヲ手近ニ構ヘ置キ他船カ我船ニ近寄來ルカ又自分ノ船カ他  
船ニ近ツクトキハ之レヲ表シテ見スヘシトノ意ナリ

免許水先人ノ業務ニ専用スル水先汽船水先業務ノ  
爲メ其營業所ニアリテ碇泊セサルトキハ第一項ノ  
規定ニ依リ水先船ニ要スル燈及閃火ノ外ニ檣頭ノ  
下方八尺ノ所ニ周回少クモ二海里ノ距離ヨリ見得  
ヘキ紅燈一個ヲ増掲シ且航行中ノ船舶ニ要スル舷  
燈ヲ掲クヘシ

【註】免許水先人ノ使用スル蒸汽船ハ水先區域内ニ在リテ碇泊シ居ラサルトキハ前項ニ定メタル白燈ト閃火ノ外ニ橋頭ノ八尺下ニ二海里四方ヨリ見得ヘキ紅燈一個ヲ増シテ點シ置キ其上航行中ノ舷燈ヲモ掲ケ置ケトノ意ナリ

前項ノ水先汽船水先業務ノ爲メ其營業所ニアリテ碇泊スルトキハ第一項ノ規定ニ依リ水先船ニ要スル燈及閃火ノ外ニ前項ノ規定ニヨリ紅燈ヲ増掲スヘシ但シ舷燈ヲ掲クヘカラス

【註】水先汽船區域内ニ在リ碇泊シ居ルトキハ第一項ノ定メニヨリ白燈ト閃火ヲ表ス外前項ノ定メニヨリ尙紅燈ヲモ増掲シ置クヘシ但碇泊ノ場合故舷燈ヲ點シテハナラヌト云フ

意ナリ

水先船其營業所ニアルモ水先業務ニ從事セサルトキハ其ノ積量ニ相當スル他船ト同様ノ燈ヲ掲クヘシ

【註】水先船ハ營業所ニ在リテモ水先業務ニ從事セヌトキハ普通ノ船ト見做スヘキニヨリ積量ニ相當スル點燈ヲナサズハナラヌト云フナリ

第九條 漁船ハ航行中特ニ本條ニ規定アル場合ヲ除ク外其積量ニ相當スル航行中ノ船舶ニ對シテ規定シタル燈ヲ掲クルカ又ハ之ヲ表示スヘシ

【註】漁船航行中ニハ此條ニ定メノアル分ハ次ノ各項ノ定メ



【三八】ニ從ヒ其外ハ積量ニ應シテ規則通りノ燈ヲ點スヘシトノ意ナリ

一 無甲板船即チ全部張詰メタル甲板ニ因リテ海水ノ浸入ヲ防カサル船夜間漁業ニ従事スルニ當リ其放出スル漁具ノ端ト本船トノ水平上ノ距離カ百五十尺以内ナルトキハ周回ヨリ見得ヘキ白燈一個ヲ掲クヘシ

【註】甲板ナキ船即チ水カ這入ラヌ様甲板ヲ張詰メテナイ漁船夜間漁業ニ従事シテ漁具ヲ擴ケ居ルコト百五十尺以内ナルトキハ四方ヨリ見ユル様ニ白燈一ツヲ掲ケテ置クヘシト云フ意ナリ

無甲板船夜間漁業ニ従事スルニ當リ其放出スル漁具ノ端ト本船トノ水平上ノ距離カ百五十尺ヲ超ユルトキハ周回ヨリ見得ヘキ白燈一個ヲ掲ケ且我船ノ他船ニ近寄り行クトキ又ハ他船ノ我船ニ近寄り來ルトキハ其ノ白燈ノ下方ニ少クモ三尺ヲ隔テ且漁具ノ結著シタル方向ニ於テ水平上少クモ五尺ヲ隔テ白燈一個ヲ増表スヘシ

【註】前項ノ漁船漁具ヲ百五十尺以上ニ場所ヲ擴ケ居ルトキハ四方ヨリ見得ヘキ白燈一個ヲ掲ケ置ク外他船ト接近シタルトキハ其白燈ヨリ三尺下ケテ漁具ノ有ル方ニ五尺以上ヲ隔テ、白燈ヲ、モ一ツ表スヘシ

二

【四〇】  
 第一ニ規定シタル無甲板船ヲ除ク外流シ網ヲ  
 用井テ漁業ニ從事スル船舶ハ網ノ全部又ハ一部  
 水中ニ投下シアル間ハ最モ見得易キ所ニ白燈二  
 個ヲ掲クヘシ此ノ兩燈ハ上下ノ距離六尺ヨリ少  
 カラス十五尺ヨリ多カラス且龍骨線ニテ測リタ  
 ル前後ノ距離五尺ヨリ少カラス十尺ヨリ多カラ  
 サル様其一燈ヲ他燈ノ下方ニ裝置シ其下燈ハ網  
 ノ方向ニ掲クヘシ此ノ兩燈ハ周回少クモ三海里  
 ノ距離ヨリ見得ヘキモノタルヲ要ス  
 總積量二十噸未滿ノ帆走漁船ハ地中海及日本國

並韓國ノ沿海ニ於テハ必スシモ兩燈中其ノ下燈  
 ヲ掲クルヲ要セス然レトモ之ヲ掲ケサルトキハ  
 他船ノ我船ニ近寄り來ルカ又ハ我船ノ他船ニ近  
 寄り行クトキ少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキ  
 白燈一個ヲ同一ノ位置（網又ハ漁具ノ方向ニ於  
 テ）ニ表示スヘシ

【註】流シ網ヲナシ居ル無甲板船テナイ船ハ少シテモ網ヲ水  
 中ニ入レ居ルトキハ三海里四方ヨリ見ユル白燈二個ヲ上下  
 ハ六尺以上十五尺以内ニナシ前後ハ五尺以上十尺以内ニ筋  
 違ニ掲ケ下ノ燈ハ網ノ有方ニ表スヘシ  
 總積量二十噸ニ滿タヌ帆走ノ漁船ハ日本及ヒ韓國ノ沿海朝

鮮(ちや)地中海(ちゆうかい)ニ於テハ前項ノ如ク下方ノ白燈ヲ掲ケ置ク  
ニハ及ハヌ然レトモ若シ掲ケ置カヌトキハ他船ト接近シタ  
ルトキ少クモ一海里ヨリ見ユヘキ白燈一ツヲ其都度下方ノ  
白燈ヲ表スヘキ所ニ出シテ示スヘシトノ意ナリ

三

第一ニ規定シタル無甲板船ヲ除ク外延繩ヲ用  
井テ漁業ニ従事スルニ當リ延繩ヲ結著シ又ハ之  
ヲ曳入ル、船舶ニシテ碇泊セス又ハ第八ニ依リ  
停留セサルモノハ流シ網ヲ用井テ漁業ニ従事ス  
ル船舶ト同一ノ燈ヲ掲クヘシ其ノ延繩ヲ延ヘ又  
ハ曳繩ヲ用ウルモノハ其ノ船ノ種類ニ應シ航行  
中ノ漁船又ハ帆船ニ對シテ規定シタル燈ヲ掲ク

ヘシ  
總積量二十噸未滿ノ帆走漁船ハ地中海及日本國  
並韓國ノ沿海ニ於テハ必スシモ兩燈中其ノ下燈  
ヲ掲クルヲ要セス然レトモ之ヲ掲ケサルトキハ  
他船ノ我船ニ近寄り來ルカ又ハ我船ノ他船ニ近  
寄り行クトキ少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキ  
白燈一個ヲ同一ノ位置(釣繩ノ方向ニ於テ)表示  
スヘシ

【註】延繩漁業ニ従事シ居ル船ハ其延繩ヲ結ヒ留メ置クカ又  
ハ引入レツ、アリテ碇泊セス又漁具ノ岩礁等ニ纏ヒ居ラヌ  
トキハ流シ網ノ船ト同シ様ニ燈ヲ表示ス然レトモ延繩ヲ延

【四四】  
ヘツ、アリ又ハ曳繩シツ、アルトキハ汽船帆船ノ區別ニ從ヒ夫々定リシ燈ヲ表示スヘシトノ意ナリ  
然レトモ二十噸ニ足ラヌ帆走延繩漁船ハ前項第二ノ流網帆走漁船ト同シ規定ニ依リテ可ナリ

四 打タセ網（總テ海底ニ漁具ヲ曳クモノヲ包含ス）ヲ用井テ漁業ニ從事スル船舶ハ左ノ規定ニ依ルヘシ

【註】打タセ網其他海中ニ漁具ヲ曳ク漁船漁業ヲナシ居ルトキハ次ノ定ニ從フヘシトノ意ナリ

甲 漁船ハ第二條第一項ニ規定シタル白燈ノ位置ニ三色ノ燈籠一個ヲ掲ケ尙其下方六尺ヨリ

少カラス十二尺ヨリ多カラサル所ニ白色ノ燈籠一個ヲ増掲スヘシ此ノ三色燈ハ船ノ正首ヨリ左右各二點マテハ白色其レヨリ各舷正横後ノ二點マテ右舷ハ綠色左舷ハ紅色ノ射光ヲ及スヘク製造シ且裝置スルヲ要シ又白燈ハ常に不同ナク亮明ノ光ヲ發シテ周回ヲ照スヘク製造シタルモノタルヲ要ス

【註】漁具ヲ海中ニ曳テ居ル汽船ハ前項規定セル白燈ノ位置ニ中央四點ハ白色其左右ヘ正横後二點迄ハ右ハ綠左ハ紅ノ光ヲ發シ二海里ヲ照ス三色ノ燈籠ヲ掲ケ尙其下方六尺ヨリ少カラス十二尺ヨリ多カラヌ處ニ二海里ヲ照ス白燈一ツ

ヲ表示スヘシトノ意ナリ

乙

帆船ハ常ニ不同ナク亮明ノ光ヲ發シテ周回  
ヲ照スヘク製造シタル白色ノ燈籠一個ヲ掲ケ  
且他船ノ我船ニ近寄り來ルカ又ハ我船ノ他船  
ニ近寄り行クトキハ衝突ヲ防クニ充分ナル時  
間ヲ見定メ最モ見得易キ所ニ白色ノ閃火又ハ  
炬火一個ヲ表示スヘシ

甲及乙ニ規定シタル諸燈ハ少クモ二海里ノ距  
離ヨリ見得ヘキモノタルヲ要ス

【註】漁具ヲ海中ニ曳キ居ル帆走漁船ハ二海里四方ヲ照ス白  
色ノ燈籠一個ヲ掲ケ他船ト接近スルトキハ衝突ヲ防クニ充

五

分ノ間合ヲ見計ヒ最モ見エ易スキ處ニ白色ノ閃火若クハ炬  
火一ツヲ表シテ見スヘシトノ意ナリ

桁網ヲ用井テ牡蠣採取ニ従事スル船舶其他桁  
網ヲ用井テ漁業ニ従事スル船舶ハ打タセ網ヲ用  
井テ漁業ニ従事スル船舶ト同一ノ燈ヲ掲ケ及之  
ヲ表示スヘシ

【註】桁網ヲ用テ牡蠣採取等ノ漁業ニ従事スル漁船ハ打タセ  
網ノ漁業ト同様ニ燈火ヲ表示スヘシトノ意ナリ

六

漁船ハ本條ニ規定シタル燈ヲ掲ケ及之ヲ表示  
スル外何時ニテモ閃火ヲ用井且漁業用ノ燈火ヲ  
用ウルヲ得

七

【註】漁船ニハ規則通りノ船燈ヲ表シ置ク外閃火ヤ漁業用ノ燈ヲ用井テモ差支ナイトノ意ナリ

【四八】

長サ百五十尺未滿ノ漁船碇泊中ハ周回少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキ白燈一個ヲ掲ケヘシ長サ百五十尺以上ノ漁船碇泊中ハ周回少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキ白燈一個ヲ掲ケ且第十一條ニ規定シタル白燈一個ヲ増掲スヘシ

【註】船長サ百五十尺ニ足ラヌ漁船碇泊中ハ一海里四方ヨリ見ユル白燈一ツヲ表示シ百五十尺以上ノモノナレハ百五十尺以上ノ普通ノ船碇泊ト同様ノ燈ヲ表示スヘシトノ意ナリ

長サ百五十尺未滿ナルト百五十尺以上ナルトヲ

問ハス碇泊中ノ漁船漁網其他ノ漁具ヲ結著シタルトキハ他船ノ我船ニ近寄り來ルトキ碇泊燈ノ下方少クモ三尺ヲ隔テ且漁網其ノ他ノ漁具ノ方向ニ於テ水平上少クモ五尺ヲ隔テ白燈一個ヲ増表スヘシ

【註】漁船碇泊中漁具ヲ結著シアルトキハ船ノ長サ百五十尺以下ナルト以上ナルトニ拘ラス他船ノ近寄り來ルトキハ碇泊燈ノ下方三尺以上ノ處ニ於テ漁具ノ有ル方ヘ五尺以上離ナシテ表示シテ漁具ノアルヲ示スヘシトノ意ナリ

八

漁船漁業ニ從事中漁具ノ岩礁其ノ他障物ニ纏著シタル爲メ停留スルトキハ晝間ニアリテハ

【四九】

第十二規定スル晝間信號ヲ引下シ夜間ニアリテ  
ハ碇泊船ト同一ノ燈ヲ表示シ又霧中降雪其他暴  
雨中ハ碇泊船ニ對シテ規定シタル霧中信號ヲ爲  
スヘシ (第十五條第四項及末項參照)

【五〇】

九

霧中降雪其他暴雨中流シ網打タセ網桁網又ハ  
延繩ヲ用井テ漁業ニ從事スル總積量二十噸以上  
ノ船舶ハ漁船ニアリテハ漁笛若ハ漁角帆船ニア  
リテハ號角ヲ用井一分時ヨリ多カサル間隙ヲ以

テ一聲ヲ發シ之ニ續キテ號鐘ヲ鳴ラスヘシ總積  
量二十噸未滿ノ漁船ハ必スシモ此信號ヲ爲スヲ  
要セス然レトモ之ヲ爲サ、ルトキハ一分時ヨリ  
多カラサル間隙ヲ以テ適宜他ノ有効ナル音響信  
號ヲナスヘシ

十

【註】霧中降雪等ノトキ流シ網、打タセ網、桁網又ハ延繩ヲ  
用井テ漁業ニ從事スル總積量二十噸以上ノ船ハ汽笛、汽角  
又ハ號角ニテ一分時ヨリ多カラヌ間合毎ニ一聲ヲ發シ續テ  
號鐘ヲ鳴ラシ二十噸ニ足ラス小船ナレハ一分時ヨリ多カラ  
ヌ間合ニ能ク聞ユル音響信號ヲナスヘシトノ意ナリ

網延繩又ハ打タセ網ヲ用井テ漁業ニ從事スル

【五一】

船舶航行中晝間ニアリテハ最モ見得易キ所ニ籃  
其他ノ信號ヲ掲ケ近寄り來ル他船ニ其漁業中ナ  
ルコトヲ表示スヘシ若シ碇泊中ノ船舶漁具ヲ投  
下セルトキハ他船ノ近寄り來ルトキ同様ノ信號  
ヲ他船ノ航過シ得ル舷側ニ於テ表示スヘシ

【註】網、延繩等ヲ用イテ居ル船晝ハ（航行中ニテモ碇泊中  
ニテモ）見エ易スキ處ニ籃又ハ適宜他ノ信號ヲ掲ケテ漁船  
ナルコトヲ示スヘシ但シ碇泊シテ居ルトキハ他船ノ通過スヘ  
キ方ニ其信號ヲ掲ケ置クヘシトノ意ナリ

本條ニ依リ特ニ規定シタル燈ヲ掲ケ又之ヲ表示ス  
ルヲ要スル船舶ハ第四條第一項及第十一條末項ノ

燈ヲ掲クルニ及ハス

【註】此ノ九條ノ定メニヨリ燈ヤ他ノ印ヲ表シ置ク船ハ漁業  
ノ状態ニアルトキヲ表示シテ居ル以上ハ重複スル故第四條ノ  
運轉自由ヲ得サル船ノ表示ヤ第十一條乗揚船ノ表示ヲナス  
ニ及ハヌトノ意ナリ

第十條 他船ニ追越サレントスル船舶ハ他船ニ向テ

船尾ヨリ白燈ヲ表示シ又ハ閃火ヲ發スヘシ

【註】汽船帆船ノ別ナク夜間後方ヨリ他船カ追越サントシテ  
接近シ來ルトキハ其船ニ對シテ船尾ヨリ白燈ヲ顯ハシテ見  
スルカ又ハ閃火ヲ發シテ氣ヲ付ケサセヨトノ意ナリ

本條ニ從テ表示スヘキ白燈ハ豫メ船尾ニ掲置クヲ



得然レドモ此燈ハ少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘ  
キモノニシテ常ニ不同ナキ亮明ノ光ヲ發シ鍼盤ノ  
十二點間ヲ照スヘク製造シ船ノ正後ヨリ左右ヘ六  
點間宛射光ノ及フヘキ様隔板ヲ裝置シ成ルヘク舩  
燈ト同一ノ高サニ掲クヘシ

【註】船尾ニ表示スル白燈ハ其都度ニ差出シテ示ス代リニ不  
斷船尾ニ掲ケ置クモ差支ナシ若シ其ヲ掲ケ置クナレハ其燈  
ハ白色ノモノニテイツモ明ルキ光ヲ發シ眞艦ヨリ左右ヘ六  
點ツ、十二點間ヲ照ス様隔板ヲ据附ケ其高サハ成ヘク舩燈  
ト同シ高サニ掲ケ晴天ノ暗夜ニ一海里以上ノ處ヨリ見ユル  
様ニナシ置ケヨトノ意ナリ

第十一條

長サ百五十尺未滿ノ船舶碇泊中ハ前方ノ  
最モ見得易クシテ船体上ヨリ二十尺ヲ超エサル所  
ニ白燈一個ヲ掲クヘシ此燈ハ常ニ不同ナキ亮明ノ  
光ヲ發シ周回少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキモ  
ノタルヲ要ス

【註】本條ハ碇泊船ノ標示スヘキ燈火ノコトヲ規定セラレタリ  
而シテ此第一項ハ汽船帆船ノ別ナク長サ百五十尺ニ滿タサ  
ル船舶碇泊ノトキハ四方一海里以上ヲ照スヘキ白燈ヲ船ノ前  
部ニ於テ他船ヨリ最モ見得易ク舩縁上二十尺ヲ越エサル高  
サニ掲ケ置クヘシトノ意ナリ

長サ百五十尺以上ノ船舶碇泊中ハ前方ノ最モ見得

易クシテ船體上二十尺以上四十尺以下ノ所ニ前項ノ白燈一箇ヲ掲ケ且船尾若ハ其最寄ニ於テ前方ノ燈ヨリ少クモ十五尺下方ニ同種ノ白燈一個ヲ掲クヘシ

【註】此項ハ汽船帆船ノ差別ナク長サ百五十尺以上ノ船舶碇泊中ニ標示スヘキ船燈ヲ定メラレタリ長サ百五十尺以上ノ船舶ナレハ前項ノ白燈ヲ前部ト船尾トニ標示ス其前燈ハ前方ノ最モ見得易クシテ船體上二十尺以上四十尺以下ニ掲ケ後燈ハ船尾若クハ其最寄ニ於テ前方ノ燈ヨリ少クモ十五尺低ク掲ケ置ケトノ意ナリ但シ航海中ノ橋燈ハ船幅ニ關係アルモ碇泊燈ハ船幅ニ關係

ハアラサルヘシ  
本條船舶ノ長サハ本船船籍證書面ノ長サニ依ルヘシ

【註】前項ノ長サ百五十尺内外ハ船籍證書(國籍證書)ノ記載ニヨリ區別ス

船路若ハ其最寄ニ於テ乗掲ケタル船舶ハ本條白燈ノ外尙第四條第一項ニ規定シタル紅燈二個ヲ掲クヘシ

【註】此項ハ船ノ航通スル港筋或ハ其最寄ニ乗掲ケ居ル船ノ標示信號ニテ其信號ハ碇泊燈ノ外ニ事變ノ爲メ運轉自由ヲ得サルトキノ信號燈即チ紅燈二個ヲ第四條ノ規定ニ從ヒ引揚ケ置ヘシトノ意ナリ

第十二條 各船他船ノ注意ヲ喚起スル爲必要ナリト  
スルトキハ本法ニ規定シタル船燈ノ外尙閃火ヲ發  
シ或ハ難船信號ト混同セサル爆裂信號ヲ發スルヲ  
得

【五八】

第十三條 本法船燈ノ規定ハ二艘以上ノ軍艦又ハ軍  
艦ニ護送セラル、船舶ニ増掲スル列位燈及信號燈

【註】他船ニ氣ヲ着ケサセントスル場合ニハ此規則ニ定メタ  
ル燈火ノ外ニ閃火ヲ發シテモ又ハ難船信號ト紛ラハシカラ  
ヌ様ニ爆裂信號ヲナシテモ差支ナイ  
但シ難船信號ナレハ一時一發ツ、發スルモノナル故此場合  
ニハ一時ニ二發モ三發モ發スヘキナリ

ニ關シ各國政府ニ於テ特ニ制定シタル規則ノ施行  
ヲ妨ケス又船舶所有主ニ於テ其國政府ノ許可ヲ受  
ケ登簿公告ノ手續ヲ經テ私用スル識別信號ノ使用  
ヲ妨ケス

【註】此規則ハ二艘以上ノ軍艦カ艦隊ヲ組テ航行スルトキ又  
ハ軍艦カ商船ヲ護送スルトキ使用スル列位燈ヤ信號燈ヲ掲  
クルコト又ハ船主カ其國政府ノ許可ヲ受ケ登簿公告ノ手續ヲ  
ナシテ自分タケノ信號ヲ使用スルハ此豫防法ニ於テ構ヒナ  
イト云フコナリ

第十四條 汽船畫間ニ帆ノミヲ以テ運轉スルモ其煙  
突ヲ引下ケサルトキハ前方ノ最モ見得易キ處ニ直

【五九】

【六〇】  
徑二尺ノ黒球若ハ黒色形象一個ヲ掲クヘシ

【註】汽力ヲ用非サル汽船烟突ヲ引下ケス晝間航行スルトキハ直徑二尺ノ黒球若クハ似寄ノ黒キ形象ヲ掲ケテ汽力ヲ用非居ラサルコトヲ示スヘシ

霧中信號

【註】霧、雨、雪等ノ爲メ暗クテ少シモ見エヌトキノ合圖ノ仕方ナリ

第十五條 航行中ノ船舶ニ關シ本條ニ規定シタル信號ヲ爲スニハ左ノ信號器ヲ用ウヘシ

【註】航行シ居ル船舶カ此條ニ規定シタル信號ヲナストキハ次ノ各項ニ定メタル器械ヲ使用スヘシ

汽船ハ汽笛若クハ汽角

【註】蒸汽船霧中航行中ハ船舶検査規定第六十八條ニ從ヒ裝置シタル汽笛若ハ汽角ヲ用ウヘシ

船舶検査規定第六十八條  
汽船ニハ煙筒ノ前面ニ於テ音響ノ妨ナキ適當ノ高サニ汽笛若ハ汽角ヲ裝置スヘシ

帆船及他船ニ引カレテ運行スル船舶ハ霧中信號

【註】航行中ノ帆船ト他船ニ引カレテ運行スル船舶トハ船燈信號器救命具試験檢定規程ニ合格セル霧中號角ヲ用ウヘシ

船舶検査規程第六十六條  
機械製霧中號角ハ其音響少クモ一海里以上ニ達シ且四秒乃至六秒時間ヅレバ發聲シ得バキ構造ナルヲ要ス

本條中長聲トハ四秒乃至六秒時間ノ發聲ヲ謂フ

【註】此條文ニ長聲ト云フハ發聲ノ長サ四秒ヨリ六秒マテノモノヲ云フ

汽船ハ汽力其他之ニ代用スヘキモノニ因リ發聲スル適當ノ汽笛若クハ汽角ヲ音響ノ妨害物ナキ所ニ裝置シ且號鐘及機關ノ作用ニ因リ發聲スル適當ノ霧中號角ヲ備フヘシ又總積量二十噸以上ノ帆船ハ汽船同様ノ號鐘及霧中號角ヲ備フヘシ

【註】汽船ノ霧中信號ニ使用スル汽笛又ハ汽角ハ音響ノ妨害ナキ所ニ取附ケ蒸氣ノ力ニテ發聲スルモノヲナケレハナラヌ又其外ニ規定合格ノ號鐘ト機關ノ作用ニヨリ聲ヲ出ス霧

中號角トヲ備置クヘシ總積量二十噸以上ノ帆船ハ汽船ニ使用スルモノト同様ノ號鐘ト霧中號角トヲ備フヘシ  
號鐘ハ其音響ノ妨ナキ適當ノ場所ニ懸垂シ其徑八吋以上ナルヲ要ス

霧中降雪其ノ他暴雨中ハ晝夜ノ別ナク左ノ各項ニ規定シタル信號ヲ爲スヘシ

【註】霧中雪降り暴雨中ニテ四方能ク見得サルトキハ晝トナク夜トナク次ノ規定ニ從ヒ夫々ノ信號ヲナスヘシ

一 汽船航行中ハ二分時ヨリ多カラサル間隙ヲ以テ長聲ヲ一發スヘシ

【註】蒸氣船航行中ナレハ二分以内ノ間合ニ汽笛或ハ汽角ヲ以テ四秒ヨリ六秒ノ長キ一聲ツ、ヲ鳴ラスヘシ

二 汽船航行中運轉ヲ止メテ速力ヲ有タサルトキ  
ハ二分時ヨリ多カラサル間隙ヲ以テ長聲ヲ二發  
スヘシ但其二發ノ間隙ハ大約一秒時タルヲ要ス

【註】此項ハ蒸汽船カ航行中機關ノ運轉ヲ止メテ速力ヲ有タ  
ストキノ合圖ヲ定メタリ其仕方ハ前項ト同シ間合ニ四秒乃  
至六秒ノ長聲ニ發續ケテ鳴スナリ其二發ノ間ハ大約一秒位  
ニナスヘシ

三 帆船航行中ハ一分時ヨリ多カラサル間隙ヲ以  
テ右舷開ナレハ一聲ヲ發シ左舷開ナレハ二聲ヲ  
連發シ船ノ正横後ニ風ヲ受ケタルトキハ三聲ヲ  
連發スヘシ

【註】此項ハ帆船航行中ノ合圖ノ定メナリ其仕方ハ一分時以  
内ノ間合ニ霧中號角ヲ以テ右舷開ニ風ヲ受クルトキハ一聲  
左舷開ニ風ヲ受クルトキハ二聲眞横後ニ風ヲ受クルトキハ  
三聲ヲ鳴ラスナリ

四 船舶碇泊中ハ一分時ヨリ多カラサル間隙ヲ以  
テ大約五秒時間劇シク號鐘ヲ鳴ラスヘシ

【註】汽船帆船ノ差別ナク碇泊中ハ皆ナ同様ニ一分時ヨリ多  
カラヌ間合ニ大約五秒時間強ク早鐘ヲ鳴ラスヘシ

五 他船ヲ引キテ運航スル船舶、海底電信線ノ布設  
若ハ引揚ニ從事スル船舶及航行中運轉自由ヲ得  
スシテ近寄り來ル他船ノ航路ヲ避ケ能ハサルカ

又ハ本法ニ遵テ運轉シ能ハサル船舶ハ本條第一  
項及ヒ第三項ニ規定シタル信號ノ代リニ二分時  
ヨリ多カラサル間隙ヲ以テ三聲ヲ連發シ即チ長  
聲ヲ一發シタル後直ニ短聲ヲ二發スヘシ又他船  
ニ引カレテ運航スル船舶モ此信號ヲナスハ妨ナ  
シト雖他ノ信號ヲ爲スヘカラス

【六六】

【註】此項ハ他船ヲ曳キテ航行スル船、海底電線布設又ハ引揚ケニ從事シ居ル船事變ノ爲メ運轉自由ナラヌ船又ハ本條ノ規定通りニ運轉ノ出來ヌ船ノ信號ヲ定メタルモノナリ而シテ其信號ノ仕方ハ皆一樣ニ汽船ナレハ汽笛若クハ汽角、帆船ナレハ霧中號角ヲ以テ二分時ヨリ多カラヌ間合ニ長短

短ノ三聲ヲ連發スヘキナリ長短々ノ三聲トハ四秒乃至六秒ノ長聲ヲ鳴ラシタラハ大約一秒位ノ間ヲ隔テ短キ聲ヲ二度ツ、ケテ鳴ラスナリ曳カレテ運行スル船ハ曳ク船ト同シ信號ヲ爲スハ差支ナケレトモ外ノ變タ信號ヲナスヘカラス

總積量二十噸末帆船ハ必スシモ前數項ニ規定シタル信號ヲ爲スヲ要セス然レトモ其ノ信號ヲ爲サ、ルトキハ一分時ヨリ多カラサル間隙ヲ以テ適宜他ノ音響信號ヲナスヘシ

【註】總積量二十噸ニ足ラヌ小サキ帆船ニ在テハ是非前ノ項ニ定メラレタル通りノ信號ヲナサ、ルモ構ハナイ併シ若其ノ信號ヲナサヌトキハ一分時ヨリ多カラヌ間合ニ何ニナリ

【六七】

トモ適宜ノ音響即チ素板ヲ叩クナリ竹筒ヲ吹クナリシテ合圖ヲナスヘシ

【六八】

### 霧中速力

【註】霧中雪降り暴雨等ニテ咫尺ヲ辨セサルトキハ強速力ヲ以テ進行スルハ危険ナルニヨリ之ヲ警戒シタルモノナリ

第十六條 霧中降雪其ノ他暴雨中ハ各船現時ノ狀況ニ注意シ適度ノ速力ヲ以テ進行スヘシ

【註】霧中雪降り暴雨等ニテ四方見得難キトキハ其時ノ狀況ニ氣ヲ付ケ汽船ナレハ汽力ヲ緩ルメ帆船ナレハ帆ヲ減シテ程宜キ速力ニナシ進行スヘシ

汽船其ノ正横ヨリ前面ニ方リテ他船ノ霧中信號ヲ

聞キ其ノ所在ヲ定メ得サルトキハ成ルヘク機關ノ運轉ヲ止メ全ク衝突ノ虞ナキニ至ルマテ其ノ運行ニ注意スヘシ

【註】霧中雪降り暴雨等ニテ前方ノ見得サルトキ眞横前ニ當リ他船ノ霧中信號ヲ聞キ居ルモ其所在カ分ラヌトキハ成ルヘク機關ノ運轉ヲ止メ全ク衝突ノ危険ハナイト見込ノ着クマテ運行ニ注意スヘシト云フコトナリ

### 航方

【註】船ノ替シ方ノ定メナリ

衝突ノ危険ハ其ノ現況ニヨリ我船ニ近寄り來ル他船ノ方位ヲ看守シテ之ヲ豫知スルヲ得若其ノ方位

【六九】



【七〇】  
艦カニ變更スルヲ認メサルトキハ危険アルモノト  
知ルヘシ

【註】兩船互ニ接近スルトキ衝突ノ危険アルヤ否ヤハ自分ノ  
船ニ近寄り來ル他船ノ方位ニ注意スレハ前以テ豫知スルコ  
カ出來ルモノテアル其レヲ知ランニハ先ツ我船ノ針路ヲ迂  
ケヌ様一直線ニ保チ近寄り來ル他船ノ方位ヲ見守リテ其方  
位變更スルヤ否ヤニ注意シ若何時マテモ變更セストキハ衝  
突點ニ出會スル針路ニ接近シ來ルモノナルヘシ

第十七條 二艘ノ帆船互ニ近寄りテ衝突ノ虞アルト

キハ其一船ヨリ左ノ如ク他船ノ航路ヲ避クヘシ

【註】帆船カ互ニ近寄り衝突セントスル場合ニハ次ノ規定ニ

帆船ノ出會

從ヒ一船ハ他船ノ航路ヲ避クヘキ義務アルモノトス

一 一杯ニ開カサル船ハ一杯ニ開キタル船ノ航路  
ヲ避クヘシ

【註】一杯ニ開キタル帆船ト一杯ニ開カヌ帆船ト出會ヒ衝突  
ノ虞アルトキハ一杯ニ開カヌ船ハ一杯ニ開キタル船ヲ替シ  
避クヘキナリ

二 左舷ニ一杯ニ開キタル船ハ右舷ニ一杯ニ開キ  
タル船ノ航路ヲ避クヘシ

【註】左舷詰開ノ帆船ト右舷詰開ノ帆船ト出會ヒ衝突ノ虞ア  
ルトキハ左舷詰開ノ船ハ右舷詰開ノ船ノ航路ヲ替シ避クヘ  
キナリ

一杯ニ開キタル帆船ト一杯ニ開カサル帆船ト出會

左舷詰開ノ帆船ト右舷詰開ノ帆船ト出會

右舷受ノト  
左舷受ノト  
出會

【七二】  
三 一杯ニ開カサル二艘ノ船、風ヲ受クル舷同シカ  
ラサルトキハ左舷ニ風ヲ受ケタル船ヨリ他船ノ  
航路ヲ避クヘシ

同舷ニ風  
ヲ受クル  
船ノ出會

【註】一杯ニ開カヌ二艘ノ船一方ハ右舷ニ風ヲ受ケ一方ハ左  
舷ニ風ヲ受ケテ出會シ衝突ノ虞アルトキハ左舷ニ風ヲ受ケ  
タル船ハ右舷ニ風ヲ受ケタル船ノ航路ヲ替シ避クヘキナリ  
四 一杯ニ開カサル二艘ノ船、風ヲ受クル舷同シキ  
トキハ風上ノ船ヨリ風下ノ船ノ航路ヲ避クヘシ  
【註】一杯ニ開カヌ二艘ノ船カ同シ舷方ニ風ヲ受ケテ出會シ  
衝突ノ虞アルトキハ風上手ニ當ル船ハ風下ナル船ノ航路ヲ  
替シ避クヘキナリ

船尾風ヲ  
受クル船  
ト出會  
ルト出會

五 船尾ヨリ風ヲ受ケタル船ハ他船ノ航路ヲ避ク  
ヘシ  
【註】船尾ニ風ヲ受ケタル船他ノ帆船ト出會ヒ衝突ノ虞アル  
トキハ何時モ替スヘキモノトス

船尾風トハ横帆船ナレハ「メインスル」、「スバンカー」ヲ絞リ  
居ルトキ縦帆船ナレハ「ブーム」ヲ左右ニ分ケ航行スルトキ  
ト思フヘシ

汽船眞向  
ノ出會

第十八條 二艘ノ汽船正シク眞向又ハ幾ント眞向ニ  
行逢フテ衝突ノ虞アルトキハ兩船トモ針路ヲ右舷  
ニ轉シ互ニ他船ノ左舷ノ方ヲ行過クヘシ

【註】此條ハ二艘ノ汽船カ正シク眞向キ又ハ幾ント眞向ニ出

【七四】 會ヒタルトキノ替シ方ヲ定メタルモノナリ斯ノトキハ兩船共ニ針路ヲ右轉シテ互ニ他船ノ左舷ヲ相見合フテ替シ行クヘシ

本條ハ兩船正シク眞向又ハ幾ント眞向ニ行逢フテ衝突ノ虞アルトキニ限り適用スヘシ兩船各其ノ針路ヲ保チテ互ニ替リ行クトキニハ適用スヘカラス

【註】本條第一項ノ定メハ兩船カ正シク眞向キ又ハ幾ント眞向ニ出會フテ衝突セントスル虞アルトキニ限り用フヘキモノニテ互ニ其儘針路ヲ保テ替リ行クヘキトキ適用シテハナラス

本條ヲ適用スヘキ場合ハ兩船共ニ正シク眞向又ハ

幾ント眞向ニ行逢ヒタルトキ即チ晝間ニアリテハ我船ノ檣ト他船ノ檣ト一直線又ハ幾ント一直線ニ見ユルトキ夜間ニアリテハ互ニ他船ノ兩舷燈ヲ見ルトキニ限ルヘシ

【註】此項ハ汽船カ眞向幾ント眞向ニ出會互ニ針路ヲ右轉シテ替スヘキ場合ノ例ヲ擧ケテ再說シタルモノナリ應用スヘキ場合ヲ晝間ナレハ我船ノ各檣ト他船ノ各檣トカ一直線又ハ幾ント一直線ニ見ユルトキ又夜間ナレハ自他互ニ兩舷燈ヲ見テ居ルトキニ限り行フヘシ

本條ハ晝間他船ノ我鍼路ヲ横切リテ我船ノ前面ニ見ユルトキ又ハ夜間我船ノ紅燈他船ノ紅燈ニ對シ

或ハ我船ノ綠燈他船ノ綠燈ニ對スルトキ又ハ我船ノ前面ニ綠燈ヲ見スシテ紅燈ヲ見或ハ紅燈ヲ見スシテ綠燈ヲ見ルトキ又ハ綠紅ノ兩燈ヲ我船ノ前面ヨリ他ノ位置ニ見ルトキハ適用スヘカラス

【註】此項ハ本條第一項ヲ適用スヘカラサル場合ヲ例示シタリ其場合ヲ例擧レハ左ノ如シ

他船カ我船ノ前面ニ在リテ我針路ヲ横切ルトキ

我船ノ紅燈他船ノ紅燈ト對シ居ルトキ

我船ノ綠燈他船ノ綠燈ト對シ居ルトキ

我船ノ前面ニ紅燈ノミヲ見ルトキ

我船ノ前面ニ綠燈ノミヲ見ルトキ

我船ノ前面以外ノ位置ニ他船ノ兩舷燈ヲ見ルトキ

第十九條 二艘ノ汽船互ニ航路ヲ横切衝突ノ虞アルトキハ他船ヲ右舷ニ見ル船ヨリ他船ノ航路ヲ避クヘシ

【註】汽船互ニ航路ヲ横切リテ出會ヒ衝突セントスルトキハ他船ヲ右舷ニ見ル船カ航路ヲ替スヘキ義務アルモノト定メタリ

第二十條 帆船ト汽船ト互ニ近寄り衝突ノ虞アルトキハ汽船ヨリ帆船ノ航路ヲ避クヘシ

【註】汽船ト帆船ト出會衝突セントスルトキハ進退自由ナル汽船カ帆船ヲ替スヘキナリ

第二十一條 本法航方ニ依リ二船ノ内一船ヨリ他船ノ航路ヲ避クルトキハ他船ニ於テ其ノ鍼路及速力ヲ保ツヘシ

【七八】

【註】此ノ規則ノ定メニ從フ義務船カ權利船ノ航路ヲ替ストキハ權利船ニ於テハ舵ヲ托ケス一直線ニ針路ト速力ヲ其儘ニ保ツヘシ

但シ他船ニ於テ天氣密濛又ハ其ノ他ノ事故ニヨリ航路ヲ避クル船ノ處置ノミニテハ衝突ヲ避ケ能ハサル程兩船接近シタルコトヲ認ムルトキハ自ラ亦タ臨機衝突ヲ避クルニ至當ノ處置ヲ爲スヘシ

【註】權利船ハ本條本文ノ規定ニテトコマテモ針路速力ヲ保

第二十二條 本法航方ニ依リ他船ノ航路ヲ避クヘキ船ハ成ルヘク他船ノ前面ヲ横切ルヘカラス

【註】此規則ニ從ヒ義務船カ他船ヲ替シ行クニハ帆船汽船ノ別ナク成ルヘク他船ノ前面ヲ横切ラスニ他船ノ船尾ニ替シ行ク様ニナスヘシ

第二十三條 本法航方ニ依リ他船ノ航路ヲ避クヘキ

【七九】

【八〇】  
漁船ハ他船ニ近寄リタルトキ時宜ニ應シテ速力ヲ  
緩メ若ハ運轉ヲ止メ又ハ後退スヘシ

【註】此規則ニ從ヒ他船ヲ替スヘキ義務アル汽船、他船ニ近  
寄リタラハ時ト場合ニヨリ速力ヲ緩メ若クハ機關ノ運轉ヲ  
止メ又ハ後退ヲナスヘシ

第二十四條 總テ他船ヲ追越ス船ハ本法航方中前數  
條ノ規定ニ拘ハラス他船ノ航路ヲ避クヘシ

【註】此條ハ他船ヲ追越ントスル船ノ義務ヲ定メタルモノナ  
リ  
他船ヲ追越サントスル船ハ前條航方ノ規定ニハ關係ナク又  
汽船帆船ノ差別ナク追越サル、他船ヲ替スヘキモノト定メ

タリ

總テ他船ノ兩舷正横後ノ二點以外即チ夜間ニアリ  
テ舷燈ヲ見難キ位置ヨリ其ノ船ヲ追越サントスル  
船舶ハ之ヲ追越船ト爲シ其ノ後兩船ノ位置ニ變更  
ヲ來スモ其ノ追越船ヲ以テ本法ノ航路横切船トナ  
サス故ニ其ノ船ハ他船ヲ全ク追越シ了ルマテ他船  
ノ航路ヲ避クヘキモノトス

【註】追越船トハ他船ノ兩舷正横後ノ二點以外ノ位置夜間ナ  
レハ舷燈ノ見得又位置ヨリ追抜カントシテ進ミ來ル船ヲ指  
スモノナリ而シテ其進行中ニ追抜カル、船カ針路ヲ變シタ  
ルタメ位置カ變更シテモ横切リ船トハ見做サス矢張前ニ追

越船ノ位置ニアルモノヲ義務船トナシ他船ヲ全ク追抜キ了ルマテハ追越船ノ義務ヲ守ルヘキモノトス

【八二】

畫間他船ヲ追越サントスル船舶ニシテ前項ニ記載シタル方位ノ内外ヲ辨知シ難キモノハ本船ヲ追越船ト見做シテ他船ノ航路ヲ避クヘシ

【註】畫間後ヨリ他船ニ追及タルトキ舷燈ノ見難キ位置ナルヤ否ヲ辨知シ能ハサルトキハ後カラ來タ船ヲ以テトコマテモ追越船ト思惟スヘシト云フ意ナリ

第二十五條 瀛船狹隘ノ水道ニ於テ無難ニ通航シ得ルトキハ其ノ中流ノ右側即チ本船ノ右舷ニ當ル方ヲ航行スヘシ

【註】汽船カ隘キ瀬戸或ハ海峡、川杯ヲ通行スルトキ孰レノ側ヲ通ルモ危險ナルヲナクハ落筋中流ヨリ自船ノ右舷ニ當ル方ニ就キ通行スヘシトナリ

第二十六條 航行中ノ帆船ハ網或ハ繩ヲ用井テ漁業ニ従事スル帆船ノ航路ヲ避クヘシ但シ漁船ト雖モ猥ニ他船ノ通行スヘキ線路ヲ妨クヘカラス

【註】航行スル帆船ハ曳網、刺網、打瀬、繩釣等ニ従事スル漁船ノ航路ヲ避クヘシ併シ漁船ノ航路ヲ他船カ替スヘキモノト云フテ漁船カ無暗ニ他船ノ通行スヘキ線路ニ邪魔シテハナラヌト云フ譯ナリ

第二十七條 本法ヲ履行スルニ當リ運航及衝突ニ關

【八三】

シ百般ノ危険ニ注意スルハ勿論若シ危険切迫シテ  
本法ヲ履行シ能ハサル特殊ノ場合ニ於テハ其危険  
ヲ避クル爲メ臨機ノ處置ヲ爲スニ注意スヘシ

【八四】

【註】本法ヲ實地ニ行フニ就テハ船ノ運行ト衝突ニ關スル百  
般ノ危険ニ心ヲ配リ居ルコトハ云フマテモナキコト夫ノミナラ  
ス若シ彌ヨ危険切迫シ此規則通り行フコトノ出來ヌ特別ノ場  
合ニハ臨機應變ノ處置ヲ以テ危険ヲ避クル様爲スコトヲ用心  
シ居ルヘシ

航路信號

【註】汽船カ針路ヲ轉スルトキ汽笛或ハ汽角ヲ以テ他船ニ知  
ラス合圖ナリ

第二十八條 本條中短聲トハ大約一秒時間ノ發聲ヲ  
謂フ

【註】此二十八條中ノ短聲ト云フノハ大約一秒間鳴ラス聲ヲ  
云フ

航行中ノ汽船他船ニ近寄り針路ヲ變セントスルト  
キハ汽笛若クハ汽角ヲ以テ左ノ信號ヲ爲シ他船ニ  
我船ノ鍼路ヲ通知スヘシ

【註】航行シテ居ル汽船カ他船ニ近寄り鍼路ヲ變セントスル  
トキ又ハ後退スルトキハ前以テ汽笛或ハ汽角ニテ次ノ定メ  
ニ從テ合圖ヲナスヘキナリ

短聲一發我船針路ヲ右舷ニ取ル

【八五】



【註】短キ聲一發スル時ハ我カ針路ヲ右舷ニ取ルト云フ通知  
短聲一發我船針路ヲ左舷ニ取ル

【註】短キ聲二發スルトキハ我船針路ヲ左舷ニ取ルト云フ通知

短聲三發全速力ニテ後退ス

【註】短キ聲三發續ケタルトキハ一抔ノ速力ニテ後退スト云フ通知

懈怠ノ責

【註】此規則ニテ怠ノ越度

責任者

第二十九條 本法ハ點燈、信號又ハ見張ノ怠リ其他海員ノ常務又ハ臨機ノ處置ニ必要ナル注意ノ怠リヨ

特例

地方取締規則ノ効力

リ生シタル結果ニ付船、船主、船長、海員ヲシテ其ノ責ヲ免レシメサルモノトス

【註】此規則テハ船燈ヲ點スルコト信號ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ見張ノ手拔カリ其外海員カ平素ナスヘキ務又ハ臨機ノ處置ヲナサネハナラヌ注意ノ手落ちヨリ惹起シタル事柄ニ就テハ船主、船長、海員ニ至ルマテ其咎メヲ免ルコト出來ヌナリ

特例

【註】此特例トハ本法例外ノ事柄ナリ

第三十條 本法ハ地方長官ニ於テ規定シタル港、川、其他内海ノ運航ニ關スル特別規則ノ施行ヲ妨ケス  
【註】此規則ハ各國共通法ニシテ公海一般ニ適用スルヲ目的

トシタルモノナレハ小部分ノ港川又ハ内海等ニテ其地方風土ニヨリ種々ノ事情モアリテ一般法ノ下ニ服從セシムルハ不可能ナル場合モアルニヨリ地方夫々取締規則ノ施行ニ對シテハ本法ノ干渉セサル所テアルト云フナリ

難船信號

【註】船船遭難ノトキニ爲ス合圖ナリ

第三十一條 危難ニ罹リテ他船又ハ陸地ヨリ救助ヲ要スル船舶ハ左ノ信號ヲ同時又ハ別々ニ使用スヘシ

【註】遭難船カ他船又ハ陸地ニ救助ヲ乞フトキハ次ニ定メタル信號ヲ同時ニナシテモ又ハ別々ニナシテモヨシ

畫間信號

【註】畫間ニナスヘキ合圖ハ左ノ如シ

一 大約一分時ノ間隙ヲ以テ砲又ハ其他ノ爆裂發火信號ヲ一發ス

【註】約一分時ノ間合ニ大砲一發ツ、放ツカ又ハ榴彈ナリ火箭ナリヲ一發ツ、打上クルナリ

二 萬國船舶信號書ニ掲載スルNCノ信號ヲ表示ス

【註】萬國船舶信號書ニ記載シテアルNノ旗トCノ旗トヲ連掲シタルニ旗信號ヲ掲クルナリ

三 方形旗ノ上又ハ下ニ球若ハ之ニ類似ノモノヲ

掲クル遠隔信號ヲ表示ス

【九〇】

【註】旗色ノ分カラヌ遠方ニ氣ノ附ク様四角ナ旗ノ上ナリ下ナリヘ球カ夫レニ似寄ノモノヲ連掲シテ表示スルナリ

四

霧中信號器ヲ以テ間斷ナク音響ヲ發ス

【註】霧中號角、號鐘、汽笛、汽角等ヲ以テ間斷ナク音響ヲ發スルナリ

此ノ外萬國船舶信號法ニ依リ尖端ヲ上ニシタル圓錐形ノ上又ハ下ニ球若ハ類似ノモノヲ掲クル遠距離信號ヲ表示ス

夜間信號

一

【註】夜中ニナスヘキ信號ハ左ノ如シ  
大約一分時ノ間隙ヲ以テ砲又ハ其他ノ爆裂發

火信號ヲ一發ス

【註】晝間ノモノト同様ナリ

二

船上ノ發焰(ヲ燃燒スルノ類)

【註】甲板上ニテ(ター)桶ヲ燃スカ油樽ヲ燒テ火焰ヲ掲クル

三

揚ク

星火ヲ發スル榴彈火箭ヲ一次一發ツ、度々打

四

霧中信號器ヲ以テ間斷ナク音響ヲ發ス

【註】晝間ノモノト同様ナリ

【九一】

附 則

【九二】

【註】附ケ加へタル規定

第三十二條 本法中船舶積量噸數ニ關シ日本形船ハ  
十石ヲ以テ一噸ニ通算ス

石數改算  
法

【註】日本形ノ石數船ヲ此規則ニ適ハムルニハ十石ヲ一噸ト  
通算スルナリ

施行

第三十三條 本法ハ明治二十六年一月一日ヨリ施行  
ス

【註】實施セラレタル期日ヲ示メサレタルナリ

効力ヲ失  
フタル諸  
規則

第三十四條 明治十三年七月第三十五號布告海上衝

突豫防規則同十四年五月第三十三號布告同規則追  
加同十八年八月第二十七號布告同規則改正追加ハ  
本法施行ノ日ヨリ廢止ス

【註】本法施行ニ付廢サレタル諸規則ヲ掲ケタルモノナリ

海上衝突豫防法講義 終

【九三】

海上衝突豫防法問答

# 海上衝突豫防法問答

## 本法ノ性質及ヒ實施

- 問 海上衝突豫防法トハ如何ナル規則ナルカ
- 答 船航ノ衝突ヲ豫防スル爲メ萬國會議ニ於テ制定シタル各國共通ノ規則ニテ我帝國ニ於テハ明治二十五年六月二十二日法律第五號ヲ以テ公布セラレ翌二十六年一月一日ヨリ實施セラレ居ル特別法デアリマス

## 適用ノ範圍

- 問 本法ハ如何ナル範圍ニ適用セララルカ
- 答 海洋ハ勿論海洋ニ續キタル所デモ航洋船ガ運航スル所デアレバ其形ノ大小種類ノ如何ニ拘ラズ一切ノ船舶ニ適用セラレマス
- 問 然ラハ航洋船ノ運航セザル場所ニ在テハ適用セザル譯ナルカ

- 然リ航洋船ノ運航セザル場所ハ本法適用ノ範圍外デアリマス
- 然ラバ安治川ノ上流即チ淀川或ハ近江ノ湖水等ニ在テハ船燈ヲ點ゼザルモ他船ト出會シ適宜ニ替シ行クモ差支ナキカ
- 夫レハ本法ノ問フ所ニアラズ左様ノ場所ニハ必ズ地方取締規則若ハ慣例ノアルベキニヨリ其規則ヲ遵守スベキデアアル

本法ノ効力

- 此規則ハ外國ノ領海ニモ又我國ノ領海ニ在ル外國船ニモ同様ニ適用セラルベキカ
- 締盟諸國ノ船舶ハ皆一樣ニ遵守スベキデアアル

船舶ノ區別

- 此豫防法ニ於テ船舶ヲ汽船帆船ノ二類ニ區別シタルハ如何ナル譯ナルカ

- 運轉ノ能力ニヨリ權利義務ヲ定ムルガ爲メデアリマス
- 此規則ニテ帆船トハ如何ナル船ヲ指スカ
- 帆ノ力ニテ運轉スル一切ノ船舶ヲ指シマス (總則第二項)
- 然ラバ汽船デモ帆ヲ以テ運轉スルトキハ帆船ト見做スカ
- 汽力ヲ用キス全ク帆ノ力ニテ運轉スルトキハ帆船ト見做マス
- 此規則デ汽船トハ如何ナル船ヲ指スカ
- 凡テ機關ノ作用ニヨリ運轉スル船ハ如何ナル手段方法ニヨルモ皆汽船ト見做シマス (總則第三項)
- 主トシテ帆力ヲ用ヒ汽力ハ僅カニ進行ヲ補助スルノミナルトキハ汽船ト見做スヘキカ帆船ト見做スヘキカ
- 然リ汽力帆力併用スルモノナルニヨリ勿論汽船ト見做シマス (總則第二項)

航行ノ定義

- 船舶ノ航行中トハ如何ナル場合ヲ指スカ

- ④ 船舶カ碇泊ニアラズ繫留ニアラズ又坐礁ニモ膠沙ニモアラヌ場合ハ總テ航行中ト稱スヘキデアリマス (總則第四項)
- ④ 船舶ノ碇泊ト云フハ如何ナル場合ヲ指スカ
- ④ 停船具ヲ用ヒテ一所ニ留リ居ル場合ヲ申シマス
- ④ 繫留トハ如何ナル場合ヲ指スカ
- ④ 停船具ニ依ラス石或ハ杭杯ニ綱ヲ取り繫キ居ル場合ヲ申シマス
- ④ 然ラハ繫船浮標ニ繫泊シアルトキハ繫留ニアラサルカ
- ④ 停船具ヲ用ヒ居ルモノ故碇泊ト稱スヘキナリ
- ④ 坐礁トハ如何ナル場合ヲ指スカ
- ④ 岩礁ニ乘リ揚ゲ居ル場合ヲ申シマス
- ④ 膠沙トハ如何ナル場合ヲ指スカ
- ④ 淺洲ニ艘リ居ルヲ申シマス

船舶燈

- ④ 船舶トハ如何ナルモノナルカ
- ④ 船舶カ此豫防法ノ規定ニ遵ヒ標示スベキ燈ノコトヲ申シマス
- ④ 船舶カ豫防法ノ規定ニ遵ヒ使用スル燈ノ種類ハ如何
- ④ 檣燈、舷燈、兩色燈、碇泊燈及ヒ信號用ノ別種船燈等デアリマス
- ④ 檣燈トハ如何ナルモノナルカ
- ④ 汽船ガ航行中前面ニ標示スル白燈ノコトデアリマス (第二條第一項)
- ④ 夫レハ如何ナル構造ノモノデアアルカ
- ④ 常ニ不同ナク亮明ノ光ヲ發シテ針盤ノ二十點間ヲ照スベク製造シタルモノニテ船燈信號器救命具試験檢定規程ニ合格ノモノヲ用フネバナリマセヌ (構造ノ詳細ハ逓信省令第九十三號船燈信號器救命具試験檢定規程第三十九條乃至第四十七條參照)
- ④ 舷燈トハ如何ナル燈デアアルカ
- ④ 夜間航行中ノ船舶ガ兩舷ニ標示スル綠紅ノ兩燈ノコトデアリマス
- ④ 夫レハ如何ナル構造ノモノデアアルカ



船ノ正首ヨリ各舷正横後ノ二点マデ針盤ノ十點間ヲ照スベキ構造ノモノデ規程ニ合格ノモノデナケレバナリマセヌ(第二條第二項第三項船燈信號器救命具試驗檢定規程第二十四條乃至第三十條參照)

兩色燈トハ如何ナルモノデアルカ

夜間航行中小蒸汽船ガ兩舷燈ノ代リニ一燈ニテ綠紅ノ二色ニ照ラシケル燈デアリマス

夫レハ如何ナル構造ノモノデアルカ

前面ヨリ左右正横後二點マデ各側ヘ十點ヅ、右舷ハ綠色左舷ハ紅色ノ射光ヲ發スベキ樣製造シタルモノデ是モ規程合格ノモノデアリマス(第七條第一ノ乙船燈信號器救命具試驗檢定規程第四十八條乃至第五十三條參照)

碇泊燈トハ如何ナルモノデアルカ

船舶ガ碇泊中標示スル白燈ノコデアリマス其白燈ハ如何ナル構造ノモノデアルカ

周回ヲ照スベク製造サレタル圓筒形或ハ球形ノ燈デ規程ニ合格ノモノデアリマス(第十一條及船燈信號器救命具試驗檢定規程第五十八條乃至第五十九條參照)

別種船燈トハ如何ナルモノヲ云フカ

事變ノ爲メ運轉自由ヲ得ザル船及海底電信工事ニ從事スル船ガ夜中掲揚スル信號用ノ紅燈及ビ白燈デアリマス

夫レハ如何ナル構造ノモノデアルカ

周回ヲ照ラスベク製造サレタル圓筒形或ハ球形ノモノデ規程ニ合格ノモノデアリマス(第四條船燈信號器救命具試驗檢定規程第六十條乃至第六十五條參照)

兩色燈ト一面ハ綠色一面ハ紅色ノ玻璃ヲ用ヒタル燈籠ト同一物デアルカ

ソレハ別物デス兩色燈ハ恰モ兩舷燈ヲ一個ニ附着タル如キ製造ニテ且ツ前方ニ突出シタル隔板ヲ具ヘテアリマス兩色ノ燈籠ハ三菱形ニシテ前面ニ隔板ナキ提燈ノ如キ製造デアリマス

- ④ 以上ノ船燈ハ如何ナル期間燃力アルモノデアアルカ
- ⑤ 両色ノ燈籠ヲ除キ外ノ船燈ハ船燈信號器試験檢定規程ニヨリ十六時間以上費消シ得ベキ油量ヲ貯フル油壺ヲ具ヘ同時間以上規定ノ光力ヲ保ツベキ筈ノモノデアリマス
- ⑥ 規定ノ光力トハ如何
- ⑦ 各燈ハ豫防法第二條第四條第七條第十一條ニ從ヒ夫々ノ光達距離ヲ亮明ニ照スベキヲ云フノデアリマス
- ⑧ 船燈ノ光達距離ハ如何ナル程度ヲ標準シタルモノデアアルカ
- ⑨ 晴レタル暗夜ニ於テ健全ナル肉眼ノ見得ベキ程度ヲ標準トシタルモノデアリマス
- ⑩ 船燈ヲ標示スル時刻ニ規定ハナキカ
- ⑪ 然リ有リマス晴雨ニ拘ラズ日没ニ揚掲シテ翌朝日出ニ引卸シマス
- ⑫ 船燈標示ニ就テハ時刻ノ外他ニ制限ハナキカ

- ⑬ 船燈ヲ標示スルトキハ規定ノ燈火ノ外他ノ紛ハシキ燈火ハ決シテ掲ケザル様ナサネハナリマセン(第一條)
- ⑭ 點燈時刻ハ嚴正ニ守ルヘキデアアルカ
- ⑮ 嚴正ニ守ルベキ筈ナリ
- ⑯ 日出日没ノ時刻ハ何ニ由テ知ルカ
- ⑰ 曆ニ據リテ大略ヲ知リマス
- ⑱ 曆ニ記載シアル日出日没ノ時刻ハ各地一樣ニ適用シテ差支ナキカ
- ⑲ 正確ナル時刻ハ一々算測スルニアラサレバ知ラルベキモノデアリマセ
- ⑳ 其測算ヲ知ラザルモノハ如何ナスカ
- ㉑ 日出日没ノ時刻ヲ正確ニ知リ得ザル場合ニハ點燈ヲ早目ニナシ消燈ヲ遅クナサバ規則違犯ニ陥ルハアリマセン
- ㉒ 日出後マテ點燈シテモ本法違犯ニアラザルカ

消燈ノ時刻ヲ延滞シ應爲義務ヲ超過シタルトテ敢テ咎ムベキニアラザルモノト思惟シマス

### 碇泊ノ船燈

帆船碇泊中ハ如何ナル船燈ヲ掲グルカ

船ノ長サ百五十尺内外ニヨリ標示方ガ違ヒマス(第十二條)

長サ百五十尺未滿ノ帆船ハ如何

前方ノ最モ見得易クシテ船体上二十尺ヲ越エサル所ニ白燈一個ヲ掲ゲマス

最モ見得易キトハ如何ナル場所ヲ意味シタルモノナルカ

圓材索具等ノ爲メ射光ノ遮斷セラル、コノ少ナキ場所ト云フ意デアリマス

船体上トハ甲板板上ノ意ナルカ

舷縁上ノ意デアリマス

百五十尺以上ノ帆船ハ如何ニ船燈ヲ掲グルカ

前後ニ一個ヅ、二個ノ白燈ヲ掲ゲマス

其前燈ハ如何ニ掲グルカ

前燈ハ前方ノ最モ見得易クシテ船体上二十尺以上四十尺以下ノ範圍内ニ掲ゲマス

後燈ハ如何ニ掲グルカ

船尾若クハ其最寄ニ於テ前燈ヨリ少クモ十五尺低ク掲ゲマス

長サ百五十尺有ル無シハ何ニ據テ知ルカ

國籍證書面ニ記載シタル長サニ據リマス

碇泊燈ハ何海里ノ距離ヨリ見得ベキ規定ナルカ

前方ノ白燈ハ晴天ノ暗夜ニ少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ベキモノデアリマス

長サ百五十尺以上ノ船碇泊ノトキ船尾ニ掲グルハ如何ナル燈ナルカ

- 前方ノモノト同一ノモノデアリマス
- 其光達距離ハ幾許カ
- 別段明文ハアリマセヌ然シ同種ノ白燈トアルニヨリ一湮ノ距離ヨリ見  
得ヘキモノト推定シナケレハナリマセヌ
- 汽船碇泊中夜間如何ナル船燈ヲ掲グルカ
- 帆船ト同様デス
- 船舶碇泊ニアラズシテ落潮ノ爲メ一時艫リ居ル場合ニハ碇泊ト同様ノ  
船燈ヲ標示シテ可ナルカ
- 他船ノ通行スベキ航路若クハ其最寄りニ於テ艫リタル場合ニハ碇泊燈  
ノ外ニ紅燈二個ヲ掲ゲマス
- 其紅燈ハ如何程ノ高サニ掲グルカ
- 二十尺以上四十尺以下ノ範圍内ニ掲ゲマス
- 然ラバ二十尺以上四十尺以下ノ範圍内ナレバ如何ニ掲ゲテモ差支ナキ

カ

- 前橋若クハ其前面ニ於テ又前橋ヲ具ヘザルトキハ其船ノ前方ニ於テ掲  
ゲマス
- 若シ長サ百五十尺以上ノ船ナルトキハ白燈二個ノ外ニ紅燈二個ヲ掲グ  
ベキ譯ナルカ
- 然リ
- 連掲スベキ紅燈ノ間隔ハ幾許ナルナ
- 上下ニ少ナクモ六尺ノ間隔ヲ以テ連掲シマス
- 其紅燈ハ針盤ノ幾方位ヲ照シ幾許ノ距離ニ見得ベキヤ
- 周回ヲ照シ晴天ノ暗夜ニ少クモ二海里ノ距離ヨリ見得ベキモノデアリ  
マス (第四條第一項)

帆船航行中ノ船燈

- 夜間航行中ノ帆船ハ如何ナル船燈ヲ掲グルル

- 綠紅ノ兩舷燈ノミデス (第五條)
- 其綠紅ノ舷燈ハ如何ニ標示セラル、カ
- 綠燈ハ右舷ニ紅燈ハ左舷ニ取附タル隔板内ニ据付ケ揭示シマス (第二條 第四項)
- 隔板トハ如何ナルモノナルカ
- 射光ノ方位ヲ界限スル爲メ設ケタル屏風様ノ圍板ニテ燈心ノ位置ヨリ前方ニ三尺以上突出シ其外端ニハ隔障ヲ設ケ某外側ヨリ燈心ノ内側ニ引キタル線ハ船首尾線ト並行スル様取付ケタルモノデアリマス (船舶検査規程第六條 參照)
- 隔板ヲ前方ニ突出セシメ且ツ其前端ニ隔障ヲ設ケルハ何ノ爲メナルカ
- 前面ノ射光ヲ嚴重ニ界限シ兩光ノ交叉點ヲ成丈ケ遠ク前方ニ在ラシムル爲メデアリマス
- 其理由如何
- 兩燈ノ射光ガ船首ニ近ク交叉スルトキハ船首些少ノ振回リニテハ容易

- 二兩燈ノ變化ヲ顯サ、ル爲メ交叉角僅少ナル横切船モ眞向ノ船モ區別シ難キ虞アル爲メデアリマス
- 舷燈ノ射光ハ鍼盤ノ幾方位ヲ照スモノナルカ
- 船首ヨリ正横後ノ二點迄各十點宛ヲ照スベキモノデアリマス (第二條第二項)
- 其光力ハ幾許ノ遠サニ達スベキモノナルカ
- 晴レタル暗夜ニ少クモ二海里ニ達スベキモノデアリマス (同前)
- 航行中ノ帆船ハ兩舷燈ノ外他ニ何等ノ燈火ヲ標示スルコトナキカ
- 外ニ有リマセン但追越船ニ對シテ船尾ニ白燈一個ヲ標示シ置クハ差支アリマセン (第十條 第二項)
- 其船尾ノ白燈ハ常ニ標示シ置クベキ規定ナルカ
- 船尾ノ白燈ハ追越船ヲ見掛ケテ臨時表示スヘキモノナルモ出シ入レノ煩ヲ避ケ豫メ船尾ニ揭示シ置クコトヲ得ルノデアリマス (同前第一項 第二項)
- 船尾ニ白燈ヲ揭示スルニ就キ規定ハナニカ

有マヌ其白燈ハ正尾ヨリ左右六點ヅ、十二點間ヲ照スヘキ様射光ヲ界限ナル隔板ヲ成ルヘタ舷燈ト同シ高サニ裝置シテ其内ニ點シ置キマス

其船尾燈ノ光達ハ何海里ナルカ

晴レタル暗夜ニ一海里以上ノ遠方ヨリ見得ベキ様ナシ置キマス

追越船ニ對シテハ船尾ニ白燈ヲ表示スルバカリテ外ニナスコハナキカ

白燈ノ代リニ閃火ヲ發シテモ差支ナシ(第十條)

然ラバ追越船アル都度閃火ヲ發スレバ別ニ白燈ヲ船尾ニ表示スルニ及バザル譯ナルカ

然リ

閃火トハ如何ニ發スル火ナルカ

燈火ヲ樽或ハ桶等ニ出シ入レシテヒカノコサシテモ閃火デアリマス

小形船カ荒天激浪ノトキ船燈取扱ニ就テ特別ナル規定ハナキカ

暴風雨又ハ激浪ノ爲メ舷燈ヲ兩舷ニ掲グ置キ難キトキハ綠紅ノ兩舷燈

ヲ點火シテ直チニ取出シ易キ様便宜ナル處ニ構ヘ置キ他船ノ吾船ニ近寄リ來ルカ我船他船ニ近寄リ行クトキハ衝突ヲ防グニ充分ナル間合ヲ見計ラヘ速カニ取出シテ表示シマス此時綠光ハ左舷ニ紅光ハ右舷ニ見ユサル様且ツ正横後二點以外ニモ見ユザル様注意シナケレバナリマセ

其ノ舷燈ハ別ニ構造ノ異ナル所ナキカ

構造ニ於テハ別ニ異リタル所ハアリマセンガ綠紅ノ各燈ヲ間違ナク容易ク取扱フニ便利ノ爲メ綠燈ノ外面ヲ綠色ニ紅燈ノ外面ヲ紅色ニ塗り

尙ホ適當ナル隔板ヲ備ヘ右舷ノモノハ綠リニ左舷ノモノハ紅ク塗り置

キマス(第六條第二項)

帆船ハ如何程小ナルモ皆同様ノ船燈ヲ用フルカ

總積量二十噸ニ滿タザル帆船ト櫓權ヲ用テ運轉スル船ハ別段ニ定メタル規定ニ遵テ點燈スルトキハ大船ト同様ナル點燈ヲナサ、ルモ差支ア

ル規定ニ遵テ點燈スルトキハ大船ト同様ナル點燈ヲナサ、ルモ差支ア

ル規定ニ遵テ點燈スルトキハ大船ト同様ナル點燈ヲナサ、ルモ差支ア

ル規定ニ遵テ點燈スルトキハ大船ト同様ナル點燈ヲナサ、ルモ差支ア

ル規定ニ遵テ點燈スルトキハ大船ト同様ナル點燈ヲナサ、ルモ差支ア

ル規定ニ遵テ點燈スルトキハ大船ト同様ナル點燈ヲナサ、ルモ差支ア

ル規定ニ遵テ點燈スルトキハ大船ト同様ナル點燈ヲナサ、ルモ差支ア

ル規定ニ遵テ點燈スルトキハ大船ト同様ナル點燈ヲナサ、ルモ差支ア

ル規定ニ遵テ點燈スルトキハ大船ト同様ナル點燈ヲナサ、ルモ差支ア

ル規定ニ遵テ點燈スルトキハ大船ト同様ナル點燈ヲナサ、ルモ差支ア

ル規定ニ遵テ點燈スルトキハ大船ト同様ナル點燈ヲナサ、ルモ差支ア

ル規定ニ遵テ點燈スルトキハ大船ト同様ナル點燈ヲナサ、ルモ差支ア

ル規定ニ遵テ點燈スルトキハ大船ト同様ナル點燈ヲナサ、ルモ差支ア

ル規定ニ遵テ點燈スルトキハ大船ト同様ナル點燈ヲナサ、ルモ差支ア

其規定ハ如何

二十噸ニ足ラヌ帆船航行中ハ帆ヲ用テ走ルトキモ櫓權ヲ使フテ漕ギ居ルトキモ同様ニ一面ハ綠色一面ハ紅色ノ玻璃ヲ用ヒタル燈籠一個ヲ手近ニ備置キ他船ト我船ト接近スルトキハ衝突ヲ防グニ充分ナル間合ヲ見定メテ表示スル様規定シテアリマス

左様ノ場合ニ大切ニ注意スベキコトハ何カ

燈籠ヲ表示スルトキ綠光ハ左舷ヨリ紅光ハ右舷ヨリ見ヘザル様注意シテ取扱ヒマス (第七條第三項)

其燈籠ハ常ニ表示シ置クモ差支ナキカ

前面ニ於テ他船ヨリ能ク見ユル處ニ表シ置クハ差支ナキコト思ヒマス

櫓權ヲ以テ運轉スル船ハ如何様ニ點燈スルカ

櫓ヲ以テ漕ギ居ルモ帆ヲ用テ走リ居ル其差別ナク白色ノ燈籠一個ヲ手

近ニ備置キ他船ト接近スルトキハ衝突ヲ防グニ充分ナル間合ヲ見定メテ臨時ニ表示シマス

二十噸未滿ノ帆船ガ櫓權ヲ以テ漕ギ行クトキハ即チ櫓權ヲ以テ運轉スル船トナリ櫓權ヲ以テ運轉スル船モ帆ヲ用テ航走スルトキハ二十噸未滿ノ帆船ト別ニ異ナルコトナキガ如シ然ルニ其區別アルハ如何

帆船ト櫓權ヲ以テ運轉スル船トノ區別ハ構造上ノ差異ヨリ云フモノニシテ運轉シ居ルトキノ状態ヲ以テ云フモノデアリマセン

然ラバ其差異ハ如何

帆船ト云フハ船体ノ大小ニ拘ラズ帆走ヲ目的トシテ造リタルモノニテ櫓權ヲ以テ運轉スル船ト云フハ猪牙、劔先「ダンペー」解等ノ如キ櫓權等ニテ運轉スヘキ構造モノデアリマス

漁船航行中ノ船燈

漁船夜間航行中ハ如何ナル船燈ヲ掲グベキ規定ナルカ

衝突豫防法第二條ノ規定ニ依リ白色ノ橋燈ト綠紅ノ舷燈ヲ掲ゲ尙ホ外ニ白燈一個ヲ増掲シテモ構ヒマセシ

橋燈ハ如何ニ掲グルカ

同法第二條第一項ノ規定ニ遵ヒ前橋ノ前面若クハ其船ノ前方ニ於テ船幅二十尺以内ナレバ船体上二十尺ヨリ低カラザル所ニ若シ船幅二十尺ヲ超ユルトキハ其船幅ヨリ低カラザル所但シ四十尺ヲ越エザル範圍内ニ掲ゲ其射光ハ正首ヨリ左右各舷正横后ノ二點迄十點ヅ、二十點間ヲ照シ少クモ五海里ノ距離ヨリ見得ベキ様表示イタシマス

綠紅ノ兩舷燈ハ如何ニ掲グルカ

綠燈ハ第二條第二項ニ遵ヒ右舷ニ紅燈ハ同條第三項ニ遵ヒ左舷ニ各同條第四項ニ遵テ裝置シタル隔板内ニ掲ゲ其射光ハ正首ヨリ左右各舷正横后ノ二點マデ十點ヅ、ヲ照シ少クモ二海里ノ距離ヨリ見得ベキ様表示イタシマス

増掲ノ白燈ハ表示スルト否トハ隨意ナルカ

左様掲グルト掲ゲザルトハ適宜デアリマス

若シ夫レヲ掲グルトキハ如何ナル燈ヲ如何ニ標示スルカ

橋燈ト同種ノ白燈ヲ龍骨線上前後ニ隔テ前燈ハ後燈ヨリモ十五尺以上

低クナシ前後ノ間隔ハ上下ノ間隔ヨリモ多ク離シテ表示シマス

増掲ノ白燈ハ橋燈ト同様ニ船幅ヨリ低カラズ四十尺ヨリ高カラザル範圍内ニ掲グベキ譯ナルカ

否ナ増掲ノ白燈ハ橋燈ノ前ニ於テ二十尺ヨリ低ク掲グルモ又橋燈ノ后

ニ於テ四十尺ヨリ高ク掲グルモ差支アリマセン

汽船ニ白燈ヲ増掲スルハ何ノ爲メナルカ

増掲燈ヲ掲グ置クハ僅カニ船首回轉シ未ダ舷燈ニ變化ヲ現ササルニ

先チ兩白燈ノ位置ニ變化ヲ生シ船首ノ回轉ヲ他船ニ示スヲガ出來マス

汽船橋燈ヲ掲グズ兩舷燈ノミヲ標示シテ航行スル場合アルカ



汽力ヲ用ヒズ全ク帆ノミニテ航行スルトキ及ヒ他船ニ曳カレテ運行スルトキハ帆船ト同様檣燈ヲ掲グルコトナク舷燈ノミヲ標示シマス(規則一第五條)

汽船ニハ船尾燈ヲ掲グ置クカ

帆船ト同様追越船ニ對シ船尾燈ヲ表示シ置クモ差支アリマセン

汽船ハ外ニ何等ノ燈火ヲモ表示スルコトナキカ

獨走ノ汽船ハ外ニ何等ノ燈火ヲモ表示スルコトハアリマセス

### 曳船航行中ノ船燈

汽船他船ヲ曳キ夜中航行スルトキハ如何ナル船燈ヲ掲グル規定ナルカ

第三條ノ規定ニ依リ兩舷燈ノ外檣燈ヲ掲グル場所ニ檣燈ノ代リニ白燈

二個ヲ上下少クモ六尺ノ間隔ヲ以テ縱ニ連掲シマス又二艘以上ヲ引キ

其引キタル船ノ船尾ト最後ニ引カルル船ノ船尾トノ距離六百尺以上ア

ルトキハ二個ノ白燈ノ上カ又ハ下ニ六尺ノ間隔ヲ以テ一個ノ白燈ヲ増

掲シ都合三個ヲ連掲シマス

白燈三個ヲ連掲スル場合ハ二艘以上ヲ引キタルトキニ限ルカ

然リ

然ラバ一艘ヲ引キ其ノ引キタル船ノ船尾ト引カル、船ノ船尾トガ六百

尺以上離レ居ルトキハ二個ノ白燈ヲ掲グル譯ナルカ

明文上二個ヲ掲グ三個ヲ掲グルモノニアラザルモノデアリマス

白燈三個ヲ連掲スル場合ニハ三個トモ第二條第一項ノ位置即チ二十尺

以上四十尺マデノ範圍内ニ掲グベキ譯ナルカ

否其内二個ハ二十尺以上四十尺以内ノ範圍内ニ掲グ引船ノ船尾ト引カ

ル、船ノ船尾トノ距離六百尺以上ニテ一個ヲ増掲スルトキハ其ノ増掲

ノ分ハ範圍外ニナスモ差支アリマセン

引船ニハ他ニ何等ノ燈火ヲモ點スルノ要ナキカ

引カル、船ノ操舵目標トシテ燈突若クハ後檣ノ後面ニ小形ノ白燈一個

ヲ掲グルコトガ出來マス

- ③ 其白燈ハ必ズ掲グベキ規定ナルカ
- ④ 掲グルト掲グザルハ隨意デアリマス
- ⑤ 操舵目標ノ白燈ハ如何ニ掲グルカ
- ⑥ 第三條第二項但書ニ依リ正横ヨリ前面ニ見得ザル様表示シ置キマス
- ⑦ 曳船ヲナシ居ル汽船ハ増掲白燈ヲ掲グベキヤ
- ⑧ 第三條ノ明文ニヨレバ曳船ハ獨走ノトキノ檣燈及増掲燈ヲ掲グベキモノデアリマセヌ

### 四十噸未満ノ小汽船航行中ノ船燈

- ① 汽船ハ大小ノ差別ナク船燈ノ掲グ方ハ皆一樣ナルカ
- ② 否四十噸未満ノ汽船及ビ汽艇ハ第七條第一項及ビ第二項ニ掲グル規定ニ遵フトキハ第二條ノ規定通りノ燈ヲ點スルニ及ビマセン
- ③ 四十噸未満ノ汽船ハ如何ナル規程ノ船燈ヲ掲グルカ
- ④ 檣燈ハ第七條第一項甲ノ規定ニ依リ船ノ前部又ハ煙突ノ前面ニ於テ舷

- ⑤ 縁上九尺ヨリ低カラザル高サニ船首ヨリ左右へ十點ヅ、二十點間ヲ照スベキ白燈一個ヲ掲グ少クモ二海里ノ距離ヨリ見得ベキ様表示シ左右兩舷ニハ綠紅ノ舷燈ヲ四十噸以上ノ船ニ掲グルト同様ニ掲グ一海裡以上ノ距離ヨリ見得ベキ様表示シ置クカ左ナクバ右舷ハ綠色左舷ハ紅色ノ射光ヲ正首ヨリ左右へ十點間ヲ照スベキ様製造シタル兩色燈ヲ檣燈ヨリ少クモ三尺下方ニ離シテ表示イタシマス
- ⑥ 汽艇モ同様ナルカ將異ナリタル規定アルカ
- ⑦ 汽艇ノ檣燈ハ舷縁上九尺以上ニ掲グ難キ場合ハ九尺以下ニ掲グテモ差支ナシ而シテ兩舷燈ノ代リニ用フル兩色燈ハ白燈ヨリ低ク表示シ置ケバ差支アリマセン

### 水先船ノ船燈 (明治三十九年法律第四十四號改正)

- ① 夜中水先船ハ如何ナル船燈ヲ表示スルヤ
- ② 業務ノ爲メ營業所ニアルトキハ第八條第一項ニ遵ヒ周回ヨリ見得ヘキ

白燈一個ヲ橋頭ニ掲ゲ尙ホ其外十五分時ヨリ多クアラヌ間合ニ閃火一ツ  
カ又ハ二ツモ三ツモ光ラシテ見セマス

問

水先船ニハ舷燈ヲ點スルヲナキカ

答

夫レハ常ニ表示シ置カズニ點火シテ手近ニ構ヘ置キテ我船他船ニ近寄  
リ行クトキハ我船ノ進行スル方向ヲ知ラスル爲メ一寸表ハシテ見セマ  
ス此時緑ノ光リハ右舷ヨリ見エズ紅ノ光リハ右舷ヨリ見エザル様ニ注  
意セテバナリマセン (第八條第二項)

問

水先船ハ皆同様ニ燈火ヲ表示スベキモノナルカ

答

水先ヲ要スル船ニ直付スル水先船ト水先人ノ専用スル汽船ト夫々表示  
ノ仕方ハ違ヒマス

問

水先人ヲ要スル船へ直付ケスル水先船ノ船燈ハ如何ニ表示スルヤ

答

先人ヲ要スル船へ直付スル船ハ白燈ヲ橋頭ニ掲ゲ置カズ夫レヲ船火  
トシテ手近ニ構ヘ置キ隨意ニ出シテ見セ又舷燈ノ代リニ一面ハ綠色ニ

ハ紅色ノ玻璃ヲ用キタル兩色燈等ヲ點火シ置キテ我船他船ニ近寄行  
トキハ他船ニ我が進行スル方向ヲ示ス爲ニ表シマス (第八條第三項)

問

水先人ガ専用スル汽船ハ如何ニ船燈ヲ表示スルヤ

答

水先人ノ専用スル汽船業務ノ爲メ營業所ニ在リ碇泊セザルキハ橋頭ニ  
白燈ヲ掲ゲ閃火ヲ發スルノ外ニ其白燈ノ下八尺ノ所ニ周回二海里以上

ヲ照ス紅燈一個ヲ増掲シ其外ニ兩舷燈ヲモ表示シ置カテバナリマセン

(第八條第四項)

問

若其汽船碇泊シテ客ヲ待チ居ルトキハ如何ナル燈ヲ點スルカ

答

其時ハ白紅燈ト閃火ヲ表スノミニテ舷燈ヲ表シマセヌ (第八條第五項)

問

水先船ハ客待ヲセザルトキト雖モ同一ノ船燈ヲ表示スベキ譯ナルカ

答

客待ヲセザルトキハ其積量ニ應ジタル普通船ノ船燈ヲ表示セテバナリ  
マセン (第八條末項)

漁船ノ燈火

(明治三十九年法律第四十四號) 同年五月一日施行

- ① 漁船點燈ノ仕方ハ普通船ト同様ナルカ
- ② 無甲板船カ單ニ漁業ニ從事シ居ルトキ無甲板船ニアラサル船ナレバ、流シ網延繩、打タセ網、桁網等ノ區別ニヨリ又汽船、帆船ノ種別ニ從ヒ夫々點燈ノ仕方ガ違ヒマス
- ③ 漁具ヲ放出シアル船ハ如何ニ點燈ヲナスヤ
- ④ 甲板ヲ張詰メザル船漁具ヲ放出シ其弘カリ居ル場所百五十尺以内ナルトキハ四方ヨリ見ユル白燈一ツヲ掲ゲ置キマス (第九條一)
- ⑤ 若其漁具ノ弘カリハ百五十尺以上ノ場所ヲ取り居ルキハ如何ニ違ヒル點燈ヲナスヤ
- ⑥ 周圍ヨリ見ユル白燈一ツヲ掲ゲ置キ他船ノ近寄り來ルカ自分ノ船、他船ニ近寄り行クトキハ其白燈ヨリ下方へ少クモ三尺漁具ノアル方へ少クモ五尺ヲ離シテ筋違ニ表示シテ見セマス (同前)
- ⑦ 流シ網ヲナシ居ル船ハ如何ナル點燈ヲナスヤ

- ⑧ 甲板ヲ張り詰メタル船ナレバ網ノ全部ヲ水中ニ入レ置キテモ又其一部ヲ入レ置キテモ同様ニ最モ見易キ所ニ周圍三哩以上ヲ照ス白燈二個ヲ筋違ニ掲ゲマス (第九條二)
- ⑨ 其掲ゲ方ハ如何ニナスヤ
- ⑩ 上下ハ六尺以上十五尺以内ニ横ハ五尺以上十尺以内ニ掲ゲ下燈ハ網ノ有ル方ニ表示シマス (全前)
- ⑪ 其船無甲板船ナレバ如何
- ⑫ 甲板ヲ張詰メザル船ト同一ニナシマス (全前)
- ⑬ 流シ網ノ船ハ積量ニヨリ表示ノ仕方ニ違ヒナキヤ
- ⑭ 總積量二十噸未滿ナレバ帝國沿海並ニ朝鮮沿海及地中海ニ於テハ前ノ兩燈中ノ下ノ燈ハ常ニ表示シ置クシテ他船ハ我船ニ近寄來ルカ我船他船ニ近寄り行クトキハ一海里以上ノ距離ヨリ見ユベキ白燈ヲ漁具ノ有ル方へ筋違ニ表示シマス其間隔ハ前ト同様ニナシマス (全前)

延繩ヲ用キ居ル船ハ如何ナスヤ

無甲板船ナレバ漁具ノ弘カリ百五十尺内外ニヨリ表示ノ異ニスルノミ

ナレドモ其他ノ船ニシテ延繩ヲナシ居ル船ハ延繩ヲ結着シ又曳入ル、

船碇泊セズ漁具カ岩礁杯ニ纏リ停留シ居ラザルトキハ流シ網ヲナシ居

ル船ト同ジ様ニ點燈ヲナシ若シ其延繩ヲ延ツ、アリ又ハ曳繩ヲ用フル

トキハ漁船帆船ノ種別ニ從ヒ航行中ノ燈火ヲ表示シマス (第九條三)

若シ其船二十噸未満ノ帆船ニテハ別ニ點燈ノ仕方ニ違ハナキヤ

地中海ヤ日本及ヒ韓國ノ沿海ニテハ筋違ニ掲グル兩燈中下ノモノハ他

船ニ近寄ルトキ都度表示シテモ差支ナシ (全前)

打タセ網其他漁具ヲ海底ニ曳クモノハ如何ニ點燈ナスヤ

夫レハ漁船ト帆船トニテ違ヒマス (第九條四)

漁船ナレバ如何ナスヤ

普通漁船ノ橋燈ヲ掲グル位置ニ二海里以上ヲ照ス三色ノ燈籠一個ヲ掲

グ尙其下方六尺以上十二尺ノ範圍内ニ周回ヨリ見ユル白色ノ燈一個ヲ

増掲シマス

三色ノ燈籠トハ如何

正面正首ヨリ左右へ各二点ノ四点間ハ白色ニシテ其レヨリ左右各正横

後ノ二点マデハ右ハ綠色左ハ紅色ノ射光ヲ及ボスベキモノデアリマス

其打タセ網ヲ用フル漁船ガ帆船ナレバ如何ニ點燈スルヤ

少ナクモ二海里四方ヨリ見ユル白色ノ燈籠一個ヲ掲グ置キ他船ト接近

シタルトキハ白色ノ閃火又ハ炬火一個ヲ表示シマス (第九條四乙)

桁網ヲ用ヒ居ル船ハ如何ナル點燈ヲナスヤ

打タセ網ヲ用フルモノト同様ニ表示シマス (第九條五)

漁船ハ此規定外ニ一切他ノ燈火ヲ用フルコト叶ハヌ譯ナルヤ

此規則ニヨリ揭示スル燈ノ外漁業用ノ燈火及ビ閃火ハ何時用ヒテモ差

支アリマセヌ (第九條六)

問 漁船碇泊中ハ如何ニ點燈スルヤ

答 普通碇泊船ト同様デアリマス然シ漁具或ハ網ヲ結着シアルキハ白燈ノ三尺以上下方、漁具ノアル方ニ五尺以上離シテ筋違ニ白燈一個ヲ表示シマス (第九條七)

問 漁船漁具ノ岩礁或ハ他ノ障碍物ニ纏着タル爲メ停留スレバ如何ナスヤ

答 夜間ハ碇泊船ト同一ノ燈火ヲ掲ゲマス

問 網延繩又ハ打セ網ヲ用ヒ居ル船、夜間ハ夫々點燈ヲナスモ晝ハ如何ナル表示ヲナスヤ

答 最も見易スキ處ニ籃又ハ他ニ適宜ノ信號ヲ掲ゲ漁業中ナルヲ示シマス

問 碇泊中漁具ヲ投下シ居ルトキハ如何ナスヤ

答 他船近寄來ルトキ籃或ハ他ノ信號ヲ他船ノ航過シ得ル舷側ニ出シテ示シマス (第九條十)

問 漁船運轉自由ヲ得ザルカ又ハ坐礁等ノ場合ニハ如何ナスヤ

答 第四條一項ノ表示及ビ航路若クハ其最寄乗場ノ信號ヲナスニ及ビマセン

問 二十噸以上モ同様ナルヤ

事變ノ爲メ運轉自由ヲ得ザル船ノ表示

問 事變ノ爲メ運轉自由ヲ得ザル船舶ハ夜間如何ナル船燈ヲ揭示スルカ

答 第四條第一項ノ規定ニ依リ汽船ナレバ白燈ヲ引下ゲ其代リニ帆船ナレバ汽船ノ白燈ヲ掲ゲベキ所ニ二個ノ紅燈ヲ上下ニ少クモ六尺ノ間隔ヲ以テ縦ニ連掲シ周廻少クモ二海里ノ距離ヨリ見得ベキ様表示シ置キマス

問 然ル場合ニハ舷燈ヲ點ザルカ

答 全ク運行セザルトキハ掲ゲザレドモ少シニテモ運行スルトキハ舷燈ヲ掲ゲ置キマス (第四條第三項)

問 運轉自由ヲ得ザル船ノ運行スルトハ如何ナル場合ヲ云フカ

答 舵ヲ失ヒ航行シ居ル如キ場合ヲ云ヒマス

問 潮又ハ風ニ流レ居ルトキハ舷燈ヲ點スルカ

答 否表示シマセヌ

問 晝間ハ如何ナル表示ヲナス

答 同條第一項ノ規定ニ依リ直徑二尺ノ黒球若クハ黒色ノ形象二箇ヲ上下ニ少クモ六尺ヲ隔テ連掲イタシマス

海底電信工事ニ従事スル船舶ノ表示

問 海底電信線ノ布設又ハ引揚グニ従事スル船舶ハ夜間如何ナル船燈ヲ掲グルカ

答 第四條第二項ノ規定ニヨリ汽船ナレバ最モ見得易キ所ニ上下ノ二箇ハ紅色中央ノ一箇ハ白色ノ三燈ヲ六尺以上ノ間隔ヲ以テ縦ニ連掲シ

モ周回ニ海里以上ノ距離ヨリ見得ベキ様掲ゲマス (第四條第二項)

問 其場合ハ舷燈ヲ掲グルコトハナキカ

答 少シタリトキ運行スルトキハ舷燈ヲ掲ゲ置クベキ規定デアリマス (四條第三項)

問 其船晝間ハ如何ナル表示ヲトスカ

答 最モ見得易スキ所ニ上下ノ二箇ハ紅色ノ球形其中央一個ハ白色ノ豎菱形ノモノヲ六尺以上ノ間隔ヲ以テ縦ニ連掲シマス

問 海難ニ罹リ運轉自由ヲ得ザルトキハ紅燈二箇ヲ表示シテ差支ナキカ

答 其信號ハ他船ノ航路ヲ避ケ能ハザル意ヲ表スルモノニテ救助ヲ求ムル難船信號トハ自カラ異リマス難船信號ノ場合ナレバ第三十一條ノ規定ニ依ラテバナリマセヌ

問 四十噸ニ足ラヌ汽船、二十噸以内ノ帆船ガ運轉自由ヲ得ザルトキ又航

路ノ最寄ニ擱座シ居ル場合モ同様ノ表示ヲナサネハナラヌカ  
左様ノ小船及ビ漁艇并ニ櫓權ヲ以テ運轉スル船ハ別段表示ヲナスニハ  
及バヌト規定シテアリマス (第七條末項)

他船ニ追及カレ衝突ノ危険アル場合ニハ如何ナスベキカ

船尾ニ白燈ヲ表示スルカ又ハ閃火ヲ發シマス (第十條)

其白燈ハ臨時其都度標示スベキモノナルカ

豫テ船尾ニ掲ゲ置クモ差支アリマセン

若シ其レヲ掲置クニハ如何ニ表示シ置クカ

第十條第二項ノ規定ニ依リ真艦ヨリ左右へ各六點ツ、十二點間ヲ照ス

ベキ様隔板ヲ成ベク兩舷燈ト同シ高サニ船尾ニ取附ケ其内ニ掲ゲテ少

クモ一海里ノ距離ヨリ見得ベキ様ナシ置キマス

追越船ニ限ラズ凡テ他船ノ注意ヲ喚起セントスルトキハ如何ナルコト

ヲナスカ

第十二條ノ規定ニヨリ船燈ノ外尙閃火ヲ發シマスソレデモ他船無頓着

ナルトキハ難船信號ニ紛ハシカラヌ様爆裂信號ヲナシマス

其爆裂信號トハ如何ナル信號ナルカ

難船信號ニ用フル榴彈ヲ用イテ差支ナシ夫故之ヲ用フルトキ難船信號

ト混同セヌ様ナサチハナリマセン

例 外

成規外ノ點燈ヲナスモ豫防法ニ牴觸セザル場合アルカ

軍艦ガ艦隊ヲ組テ驅進スルトキ又ハ軍艦ニ護送セラルルキ或命令ニヨ

リ列位燈及信號燈ヲ掲ゲ又ハ政府ノ許可ヲ受ケ私用スル識別信號ヲ掲

グルコトハ決シテ差支アリマセン (第十三條)

船 燈 識 別



問 夜間航行中船首ニ方リ緑紅ノ兩舷燈ヲ見タルトキハ何船ト思惟スルカ

(船首ノ緑紅)

答 二海里以内ノ距離ニ在リ我船ニ正面スル帆船ト認メマス

問 夜間航行中前面ニ緑燈一個ヲ見タルトキハ何船ト思惟スルカ(前面ノ緑燈)

答 帆船ガ二海里以内ノ距離ニ在リ我船ノ前面ヲ右舷ニ横切リ行クモノト

思ヒマス

問 夜間航行中前面ニ紅燈一個ヲ見タルトキハ何船ト思惟スルカ(前面ノ紅燈)

答 二海里以内ニ在ル帆船ガ前面ヲ左舷ニ横切ルモノト思ヒマス

問 夜間航行中前面ニ白緑紅ノ三燈ヲ見タルキハ何船ト思惟スルカ(白緑紅)

答 我船ト幾ント真向ニ出會スル汽船ト思ヒマス

問 其距離ハ幾許アルト思フカ

答 一海里乃至二海里ノ距離ニ接近シタルモノト思ヒマス

問 何ニ因テ夫ヲ知ルカ

答 大船ノ舷燈ハ第二條ノ規定ニ依リ二海里ノ距離ニ見得ベク四十噸未満

ノ汽船ノ舷燈ハ第七條ノ規定ニヨリ一海里ノ距離ヨリ見得ベキ筈デア

リマス

問 白燈二個縦ニ相連リ見ユルトキハ何船ト思惟スルカ(連掲ノ二白燈)

答 舷燈ノ見得ザル遠距離ニ在ル増掲燈ヲ掲ゲタル汽船若クハ曳船ヲナス

汽船ノ正面ヲ見ルモノト思ヒマス

問 白燈三個ナルトキハ如何ナル船ト思惟スルカ(三白燈)

答 其白燈同間隔ナルトキハ數艘曳船ヲナシ引キタル船ノ船尾ト最後ニ引

カル、船ノ船尾トノ距離六百尺以上ナル曳船汽船ガ二海里以外ニ在テ

我ニ正面シタルモノト思ヒマス

問 其三白燈ハ増掲燈ヲナシタル曳船ニハアラザルカ(曳船ノ増掲燈)

- 曳船ニハ増掲燈ヲ掲グヌモノト思ヒマス如何トナレバ第二條第五項ノ増掲燈ノ規定ハ單獨航行汽船ニ係ル條文ニテ曳船ノ點燈ハ第三條ノ規定ニ從ヒ兩舷燈ノ外白燈二個若クハ三個ノミニテ他ノ燈ハ掲グベキモノニアラスト解釋サレマス
- 二個ノ紅燈縱ニ連掲スルヲ見タルトキハ何船ト思惟スルカ(連掲ノ二紅燈)
- 事變ノ爲メ運轉自由ヲ得ザル船舶ト思ヒマス
- 紅白紅ノ三燈縱ニ連掲スルヲ見タルトキハ何船ト思惟スルカ(紅白紅ノ連掲)
- 海底電信線ノ布設若ハ其引揚グニ從事シテ動キ能ハザル船ト思ヒマス
- 紅紅白ノ三燈縱ニ連掲スルヲ見タルトキハ何船ト思惟スルカ(紅紅白)
- 航路ノ近傍ニ擱坐シ居ル船舶ト思ヒマス
- 白紅紅ナルトキハ如何(白紅紅)
- 矢張航路若ハ其最寄リニ乗揚グ居ル船ト思ヒマス

○ 白燈ヲ二紅燈ノ上ニ掲グルモ下ニ掲グルモ同様ノ信號デアルカ

(航路最寄ノ乗揚船)

- 白燈ト二紅燈ハ連掲スルモノニアラズ且ツ掲グベキ高サ異ナル故白燈ハ二紅燈ノ上ニ見ユルコトモ下ニ見ユルコトモアルベキ筈デアリマス故ニ同様ノ信號ト思ヒマス
- 白燈ノ下ニ當リ綠燈アルヲ見タルトキハ何船ト思惟スルカ(白綠燈)
- 二海里以内ヲ航行スル汽船ノ右舷ヲ見ルモノト思ヒマス
- 白燈下ニ紅燈ヲ見タルトキハ何船ト思惟スルカ(白紅燈)
- 二海里以内ニ在ル汽船ノ左舷ヲ見ルモノト思ヒマス
- 綠紅燈ノ上ニ當リ連掲ノ白燈二個アルヲ見タルトキハ何船ト思惟スルカ(二白燈下ノ綠紅)
- 増掲燈ヲ標示シテ獨走スル汽船若ハ曳船ヲナス汽船ノ正面ヲ二海里以内ニ見ルモノト思ヒマス

獨走スル汽船ノ増掲燈ト曳船ヲナス汽船ノ燈トハ如何ニ區別スルカ

(獨走汽船ト曳船汽船トノ區別)

側面ヨリ見ルトキハ兩白燈ノ連掲ト否トニテ容易ニ識別スルヲ得レト

モ真向ノ場合ニハ雷々白燈ノ間隔廣狭如何ニヨリ判別イタシマス

其異ナル點ハ如何

曳船燈ノ間隔ハ少クモ六尺増掲燈ノ間隔ハ十五尺以上ナル故其間隔狭

キハ曳船ニシテ廣キハ増掲燈デアリマス

曳船ナルヤ否ヤヲ識別スルニ外ニ注目スルコトナキヤ

曳船ナレハ其船尾ニ當リ引カル、船ノ舷燈ヲ認メ得ヘシ

綠紅燈上ニ連掲セル白燈三個アルヲ見タルトキハ何船ト思惟スルカ

(三白燈下ノ綠紅)

二艘以上ノ曳船ヲナシ其引キタル船ノ船尾ト最後ニ引カレタル船ノ船

尾トノ距離六百尺以上アル汽船ノ正面ヲ二海里以内ニ見ルモノト思ヒ

ス

連掲セル紅燈二個ノ下ニ綠紅燈ヲ見タルトキハ如何ナル船ト思惟スル

ヤ (二紅燈下ノ綠紅)

事變ノ爲メ運轉自由ヲ得ザル爲メ他船ノ航路ヲ替シ能ハザルヲ標示

シ居ル船舶デアリマス

兩舷燈上ニ紅白紅三燈ノ連掲ヲ見タルトキハ何船ト思惟スルカ

(紅白紅燈下ノ兩舷燈)

海底電信線ノ工事ニ掛リ居ル船ノ正面ヲ見ルモノト思ヒマス

二白燈下ニ綠燈アルヲ見タルトキハ何船ト思惟スルカ (二白燈下ノ綠燈)

白燈上下筋違ナルトキハ増掲燈ヲナシタル汽船ニテ縦ニ一連ナリ見ユ

ルトキハ曳船ヲナス汽船ノ右舷ヲ二海里以内ニ見ルモノト思ヒマス

紅燈上ニ白燈二個アルヲ見タルトキハ何船ト思惟スルカ (二白燈下ノ紅燈)

④ 増掲燈ヲ標示スル汽船若クハ曳船ヲナス汽船ノ左舷ヲ見ルモノト思惟シマス

④ 緑紅燈上ニ二白燈アリ上ナル白燈少シク右方ニ偏テ見ユルトキハ如何ナル状態ノ船ト思フカ (二白燈下ノ兩舷燈)

④ 増掲燈ヲ標示シタル汽船我船ニ面シテ少シク右轉シタルモノト認メマス

④ 白燈三個ノ下ニ緑燈アルヲ見タルトキハ何船ト思惟スルカ (三白燈下ノ緑燈)

④ 數艘ヲ引キタル汽船ノ右舷ヲ見ルモノト思ヒマス  
④ 紅燈ノ上ニ連掲ノ三白燈ヲ見タルトキハ何船ト思惟スルカ (三白燈下ノ紅燈)

④ 數艘ヲ引キタル汽船ノ左舷ヲ見ルモノト思ヒマス

④ 緑燈ノ上ニ連掲ノ二紅燈ヲ見タルトキハ何船ト思フカ (二紅燈下ノ緑燈)

④ 運轉自由ヲ得ス他船ヲ替スコト能ハサル船ノ右舷ヲ二海里以内ニ見ルモノト思ヒマス

④ 紅燈ノ上連掲ノ紅燈二個アルヲ見タルトキハ何船ト思惟スルカ (二紅燈下ノ紅燈)

④ 運轉自由ヲ得ス他船ノ航路ヲ避能ハサル船ノ左舷ヲ二海里以内ニ見ルモノト思ヒマス

④ 紅白紅ノ三燈連掲ノ下ニ緑燈アルヲ見タルトキハ何船ト思惟スルカ (紅白紅燈下ノ緑燈)

④ 海底電信線ノ工事ニ掛リ進行シツ、アル船ノ右舷ヲ二海里以内ニ見ルモノト思ヒマス

④ 縦ニ連リタル紅白紅燈ノ下ニ紅燈ヲ見タルトキハ何船ト思惟スルカ

(紅白紅燈下ノ紅燈)

海底電信線ノ布設若クハ引揚ニ從事スル船ノ左舷側ヲ二海里以内ニ見ルモノト思ヒマス

白燈一個ヲ見タルトキハ何船ト思惟スルカ (二白燈)

白燈一個ヲ表示スルハ種々アルニヨリ一見輕忽ニ斷定スルコト能ハス須臾ク其ノ狀況ヲ注視シテ判斷イタシマス

白燈一個ヲ表示スルハ何船ナルヤ (白燈一個ヲ標示スル船舶種類)

長サ百五十尺未満ノ碇泊船、水先区内ニ在リ營業ニ從事スル水先船、艦權ヲ以テ運轉スル小船ノ船燈、漁船ノ燈籠、追越船ニ對シテ表示シタル船尾燈等ニテ船燈ノ見得サル遠距離ニアル汽船ノ檣燈ヲモ左様見ユルコトアリマス

其判別ハ如何ニナスカ (二白ノ判別)

碇泊燈ハ接近シ行クニ從ヒ必ス其方位ニ變更アリ水先船ハ營業區域外

ニ在ルコトナク又十五分時以内ノ間隙ニハ閃火カ見ユヘキ等若シ航行船ノ船尾燈ナレハ接近スルニ從ヒ其方位變更スルカ我ト針路速力ヲ同フスル船ナレハ方位ニ變更ナク亦其距離モ接近スルコトナシ方位變更セス接近シ來ルモノハ船燈見得サル獨走汽船ノ檣燈否ラサレハ小船ノ航走スル船燈カ又ハ前面ヲ斜メニ横切リツ、アル船ノ船尾燈ノ外アリマセン然ルニ船燈ノ見エサル汽船ナレハ接近シ來ルトキハ必ス船燈ヲ認ムヘキニヨリ方位變更セス接近シタル白燈ハ艦權ヲ用フル小船ノ燈火ノ外アリマセヌ

綠燈ノ下方筋違ニ白燈ヲ見タルトキハ何船ト思惟スルカ

打セ網ヲナシ居ル汽船ノ右舷面ヲ見ルモノト思ヒマス

紅燈ノ下方筋違ニ白燈ヲ見タルトキハ何船ナルヤ

打セ網ヲナシ居ル汽船ノ左舷ヲ見タルモノナリ

船首ニ方リ閃火ヲ見タルトキハ何船ト思惟スルカ (閃火)

答 我船ニ追及セラル、船カ我ニ向テ注意ヲ喚起スルモノト思ヒマス

問 夜間ハ點燈ノ仕方ニヨリ事變ノ爲メ運轉自由ナラサル船ト海底電信線

ノ工事ニ掛リ居ル船ヲ識別スルヲ得レトモ晝間ハ如何ナル標示ニヨリ  
識別スルカ

答 事變ノ爲メ運轉自由ヲ得サル船舶ハ第四條第一項ノ規定ニヨリ他船ヨ

リ最モ見エ易キ所ニ直徑二尺ノ黒球若ハ黒色ノ形象二個ヲ上下ニ少ク  
モ六尺ヲ隔テ縦ニ連掲シテ表示シマス (運轉自由ナラサル船ノ晝間標示)

問 海底電信線布設又ハ引揚ゲニ從事スル船ハ如何ナル表示ヲナスカ

答 第四條第二項ニ依リ最モ見得易キ所ニ直徑二尺以上ノ形象三個ヲ上下  
ニ少クモ六尺ヅ、ヲ隔テ連掲シ其上下ノ二個ハ紅色球形中央ノ一個ハ  
白色ノ堅菱形ヲ用ヒマス

問 其他晝間ノ標示ハナキカ

答 汽船帆ノミヲ用ヒ汽力ヲ用ヒス運轉シ居ルトキ烟突ヲ引下ケサレハ第

十四條 規定ニヨリ前方ノ最モ見得易キ所ニ直徑二尺ノ黒球若クハ黒  
色ノ形象一個ヲ掲ゲマス

問 夜間ハ點燈ニヨリ他船ノ状態ヲ判知シ得ヘキモ霧中降雪等ニテ咫尺ヲ  
辨セサルトキハ如何ニシテ他船ノ近寄ルコトヲ識ルカ

答 霧中降雪暴雨中ハ霧中信號ニヨリ推知スルノ外アリマセン

### 霧中信號

問 霧中信號トハ何事ナルカ

答 霧中降雪其他暴雨中ハ晝夜ノ別ナク豫防法第十五條ノ規定ニ遵フヘキ  
合圖デアリマス

問 其合圖ハ何ヲ以テ如何ナルコトヲナスカ

答 汽船ニテハ汽笛若ハ汽角ト號鐘ヲ用ヒ帆船ニテハ霧中號角ト號鐘ヲ用  
ヒマス

- 問 汽船ニ用フル汽笛汽角トハ如何ナルモノカ
- 答 蒸汽ノ力ニテ鳴ラス笛ト汽角テアリマス而シテ其ハ煙筒ノ前面ニ於テ音響ノ妨ゲナキ適當ノ高サニ取附ケタルモノデアリマス
- 問 號鐘トハ何ナルカ
- 答 船舶ニ於テ平常時ヲ報スル爲メ鳴ラス鐘ノコトデアリマス
- 問 帆船ニ用フル霧中號角トハ如何ナルモノデアルカ
- 答 船舶検査規程第六十六條ノ規定ニ合格セル構造ノ機械製ノ喇叭デアリマス
- 問 第六十六條ノ規定ニ合格トハ如何ナル製造ノモノナルカ
- 答 四秒乃至六秒間發聲スベキ構造ノモノニテ其音響ハ一海里以上ニ達スルモノデナケレハナリマセン
- 問 帆船ニ用フル號鐘トハ如何ナルモノナルカ
- 答 汽船ト同様ノモノヲ用ヒマス

- 問 汽笛、汽角及ヒ號鐘ハ如何様ニ使用スルカ
- 答 汽笛、汽角ハ汽船航行中第十五條第一項第二項第五項ニ依リ使用シ號鐘ハ同條第四項ニ依リ碇泊中ニ使用シマス
- 問 汽船單獨航行中ハ如何ナル信號ヲナスカ
- 答 進行中ナレハ二分時間ヨリ多カラサル間隙ヲ以テ長聲ヲ一發シ若シ連轉ヲ止メ速力ヲ保タストキハ前同間隙ニ長聲二發ヲ鳴ラシマス
- 問 長聲トハ如何程長キ發聲ナルカ
- 答 四秒乃至六秒間ノ發聲ト規定シテアリマス
- 問 長聲二發ノ間隙ハ如何程ナルカ
- 答 大約一秒時タルヲ要スト規定シテアリマス
- 問 號鐘ハ如何ニ鳴スカ
- 答 一分時ヨリ多カラサル間隙ニ大約五秒時間劇シク鳴シマス
- 問 帆船ノ霧中號角ハ如何ニ鳴スカ

- ◎ 航行中第十五條第三項ノ規定ニ從ヒ一分時ヨリ多カラサル間隙ニ右舷開ニ風ヲ受ケ居ルトキハ一聲左舷開ニ風ヲ受クルトキハ二聲正横後ニ風ヲ受クルトキハ三聲ヲ連發シマス
- ◎ 帆船ノ號鐘ハ如何ニ鳴ラスカ
- ◎ 汽船ト同様ニ鳴ラシマス
- ◎ 上荷船間船ノ如キモノモ同様ノ信號ヲナスカ
- ◎ 總積量二十噸ニ足ラサル帆船ハ一分時ヨリ多カラサル間隙ニ適宜ノ音響信號ヲナセハ大船ト同様ノ霧中號角、號鐘ヲ用ウルニ及ヒマセン
- ◎ 左様ノコトハ豫防法ニ規定シテアルカ
- ◎ 第十五條ノ末項ニ規定シテアリマス
- ◎ 適宜ノ音響信號トハ如何ナル合圖ナルカ
- ◎ 能ク音響ノ聞ユルモノナラハ何ニテモ差支ナシ假令竹ノ筒ヲ吹クモ素板ヲ鳴ラスモ適宜デアリマス

- ◎ 石數船ハ規定ノ霧中信號ヲナスヘキモノト適宜音響信號ヲ爲シテ差支ナキモノ、區別ハ如何シテ定ムルカ
- ◎ 第三十二條ニヨリ十石ヲ以テ一噸ト通算シテ二十噸ニ滿タサルモノハ適宜ノ音響信號ヲナシテ差支ナキモノデアリマス
- ◎ 霧中漁業ニ従事スル船ハ如何ナル信號ヲナスヤ
- ◎ 二十噸未滿ナレハ一分時ヨリ多カラサル間合ニ長ク聞ユル適宜ノ音響信號ヲナスノミニテ可ナレトモ總積量二十噸以上ナレハ汽船ハ汽笛若クハ汽角、帆船ナレハ號角ヲ以テ一分時間ヨリ多カラヌ間合ニ一聲ヲ發シ續テ號鐘ヲ鳴ラシマス
- ◎ 霧中ニハ以上ノ信號ノ外他ニ異リタル信號ヲ爲スコトナキカ
- ◎ 他船ヲ曳キ運行スル船、海底電信線ノ布設又ハ引揚ニ従事シ居ル船、其他事變ノ爲メ運轉自由ヲ得サル船ハ二分時ヨリ多カラサル間隙ヲ以テ長短々ノ三聲ヲ發シテ他船ト區別シマス



問 長短々々ノ三聲トハ如何ナル發聲ナルカ

答 四秒乃至六秒ノ長聲ヲ一發シ約一秒ノ間隙ニ短聲ニ發ヲ續ケ都合三連

聲ヲ發スルコトデアリマス

問 短聲トハ如何ナル發聲ナルカ

答 大約一秒時ノ發聲デアリマス

問 長短々々ノ三連聲ハ何ヲ使用スルカ

答 汽船ナレハ汽笛或ハ汽角ヲ用ヒ帆船ナレハ霧中號角ヲ用ヒマス

問 總積量二十噸未滿ノ帆船ナレハ其信號ハ如何ニナスヤ

答 小船ハ左様ノ信號ヲナスニ及ヒマセン

問 霧中雪降り又ハ暴雨ノトキハ霧中信號ヲナス外尙ホ警戒スヘキコトナ

キカ

答 第十六條ノ規定ニ依リ其時ノ様子ニ從ヒ汽船ナレハ汽力ヲ緩メ帆船ナ

レハ帆ヲ減シテ程宜キ速力ヲ以テ進行シマス

問 汽船航行中眞横ヨリ前ニ方リ他船ノ霧中信號ヲ聞タルモ其所在確ト分

リ難キトキハ如何ナル警戒ヲナスカ

答 左様ノ場合ニハ成ヘク機關ノ運轉ヲ止メ全ク衝突ノ虞ナキニ至ルマテ

注意シテ運航スヘシト第十六條ニ規定シテアリマス

問 帆船ニ於テ他船ノ霧中信號ヲ聞キタルトキハ如何ナスカ

答 其レハ何船ノ信號ナルカヲ考ヘ次ニ如何ナル状態ニアルカヲ判斷シマ

ス

問 霧中航行中船首ニ方リ汽笛長聲一發ヲ聞キタルトキハ如何ナル船ト思

惟スルカ

答 航行中ノ汽船ト思ヒマス

問 霧中航行中船首ニ當リ汽角ノ二長聲ヲ聞キタルトキハ如何ナル船ト思

惟スルカ

答 航行中ノ汽船運轉ヲ止メテ速力ヲ有タサルモノト思ヒマス

- 問 霧中航行ニ際シ前面ニ方リ長短々ノ汽笛三連聲ヲ聞キタルトキハ如何ナル船ト思惟スルカ
- 答 他船ヲ曳キテ運行スル船舶若クハ海底電信線ノ工事ニ掛リ居ル船舶又ハ事變ノ爲メ運轉自由ヲ得スシテ近寄來ル他船ノ航路ヲ避ケ能ハサル船舶ト思ヒマス
- 問 若其長短々ノ三聲ハ霧中號角ナルトキハ如何ナル船ト思惟スルカ
- 答 帆船カ運轉自由ヲ得ス又ハ他ノ事故ニテ本法ニ遵テ運轉シ能ハサルノ信號ヲナシ居ルモノト思ヒマス
- 問 霧中航行ノトキ前面ニ方リ霧中號角一聲ヲ聞キタルトキハ如何ナル船ト思惟スルカ
- 答 右舷開ニ航行スル帆船ト思ヒマス
- 問 霧中航行中前面ニ方リ霧中號角二聲ノ信號ヲ聞キタルトキハ如何ナル船ト思惟スルカ

- 問 帆船カ左舷正横前ノ風ヲ受ルモノト思ヒマス
- 問 號角三聲ナレハ如何
- 答 風ヲ正横後ニ受ケ航行スル帆船ト思ヒマス
- 問 霧中劇シキ號鐘ヲ一分間以内ノ間隙ニ鳴ルヲ聞キタルトキハ何船ト思惟スルカ
- 答 碇泊シ居ル船舶ト思ヒマス
- 問 霧中信號ヲ聞キ如何ナル状態ニ接近シ來ルカラ推知スルコトヲ得ルカ
- 答 帆船ハ風ノ受ケ方ニヨリ信號カ異ナルニヨリ其船ノ取ルヘキ針路ノ區域ヲ推知スルコトカ出來マス
- 問 夫レハ如何ナル法ニヨルカ
- 答 右舷開ニ風ヲ受クレハ一聲左舷開ニ受クレハ二聲真横後ニ風ヲ受クレハ三聲ヲ鳴ラスニヨリ一聲ヲ發スル船ノ針路ハ風位ニ向ヒ左方ヘ六點ト八點トノ二點間二聲ヲ發スル船ノ針路ハ風位ニ向ヒ右方ヘ六點ト八

點ノ二點間三聲連發スル船ノ針路ハ風位ノ反對點ヨリ左右へ約八點ツ

十六點間ノ區域ニ向テ航行スルモノト推定シマス

東風ヲ受ケ航走中前面ニ方リ霧中號角一聲ヲ聞キタルトキハ他船ハ如何ナル方向ニ航行スルカ

風位ヨリ左リへ六點目ノ北々東ヨリ八點目ノ北迄二點間ノ區域内ニ針路ヲ取り航行スル帆船デアリマス

東風ニ航行中前面ニ方リ霧中號角二聲ヲ聞キタルトキハ其他船ハ如何ナル針路ニ航行スルモノナラカ

風位ヨリ右へ六點目ノ南々東ヨリ八點目ノ南迄二點間ニ航行スルモノデアリマス

東風ヲ受ケ北ニ向テ航行中前面ニ方リ霧中號角三聲ヲ聞キタルトキハ其他船ハ如何ナル方向ニ航行スルモノナルカ

風位ノ反對點西ヨリ左右約八點即チ北少シク西ヨリ南少シク西迄ノ間

ニ針路ヲ取り航行スルモノト思ヒマス

夜間ハ點燈ニ由リ霧中ハ信號ニ由リ近寄り來ル他船ノ状態ヲ判知シタルトキハ次ニ如何ナルコトヲナスカ

互ニ接近シ衝突ノ虞アル場合ニハ本法航方ニヨリ他船ヲ替スヘキ義務アル船ハ速カニ他船ヲ替スヘキ措置ヲナサテハナリマセン

### 航 方

① 兩船互ニ接近スルトキ衝突ノ危険ナキヤ否ヤヲ豫知セントスルニハ如何ナスカ

② 先ツ近寄り來ル他船ノ方位ヲ看守シ其方位少シモ變更セス漸々接近シ來ルヲ認ムルトキハ兩船ハ互ニ衝突點ニ會合スル針路ニ進航シ來ルモノデアリマス

③ 接近シ來ル他船ノ方位ヲ看守スルニハ實地如何ニナスカ

船首振回ラヌ様針路ヲ真直ニ保チ「リギン」或ハ「オーニング」スタンシヨ  
ン」等ヲ標準トシテ方位ヲ看守イタシマス

二艘ノ帆船互ニ近寄り衝突ノ虞アル場合ニハ如何ナル船カ航路ヲ避ク  
ヘキモノナルカ

帆船ハ風ノ受ケ方ニヨリ權利船ト義務船トニ區別シ權利船ハ其儘航路  
速力ヲ保テ進行シ義務船ハ他船ノ航路ヲ避ケテハナリマセヌ

帆船ノ義務船トハ如何ナル船ヲ指スカ

第十七條ノ各項ニ該當スル船デアリマス

第十七條ノ各項ハ如何ナルコトヲ規定シテアルカ

第一項ニハ一杯ニ開カサル船ハ一杯ニ開キタル船ニ對シテ替スヘキ義  
務アルモノトシ

第二項ニハ左舷ニ一杯開キニナシタル船ハ右舷一杯開キニナシタル船  
ニ對シテ替スヘキ義務アルモノトシ

第三項ニハ左舷受ケノ一杯ニ開カヌ船ハ右舷受ノ一杯ニ開カヌ船ニ對  
シテ替スヘキ義務アルモノトシ

第四項ニハ風上手ニアル船ハ風下手ニアリ同舷ニ風ヲ受ケタル船ヲ替  
スヘキ義務アルモノトシ

第五項ニハ船尾ニ風ヲ受ケ居ル船ハ都テ他船ヲ替スヘキモノトナシタ  
リ

汽船互ニ出會シタルトキハ如何ナル替シ方ヲナスカ

正シク真向又ハ幾ント真向ニ出會シタルトキト互ニ横切リ出會シタル  
トキトノ二ツノ場合ニ區別シテ權利船義務船ヲ定メテアリマス

兩船真向ニ出會シタルトキハ如何ナル船ハ他船ヲ替スヘキ義務ナルカ  
真向幾ント真向ノ場合ハ第十八條ニ依リ兩船互ニ替シ行カテハナリマ  
セヌ

夫レハ如何ニ替スカ

互ニ針路ノ右轉シテ他船ノ左舷ニ替リ行ク様ナシマス

④ 汽船互ニ航路ヲ横切リ出會シタルトキハ如何ナル船カ他船ヲ替スヘキ義務アルカ

⑤ 第十九條ニヨリ他船ヲ右舷ニ見ル船ハ他船ノ航路ヲ替サテハナリマセヌ

⑥ 汽船ト帆船ト出會シタルトキハ孰レノ船カ航路ヲ替ス義務アルカ

⑦ 第二十條ノ規定ニヨリ汽船カ帆船ヲ替サテハナリマセヌ

⑧ 義務船ニ於テ航路ヲ替ストキハ權利船ニ於テハ如何ナスカ

⑨ 舵ヲ枉サヌ様其儘針路ヲ守リ速力ヲ保チテ行キマス

⑩ 權利船ハ如何ナル場合テモ針路速力ヲ保ツヘキモノテアルカ

⑪ 第二十一條ノ但書ニハ天氣密濃又ハ其他ノ事故ニ因リ航路ヲ避クル船ノ處置ノミニテ衝突ヲ避ゲ能ハサル程兩船接近シタルコトヲ認ムトキハ自ラ亦隨機衝突ヲ避クルニ至當ノ處置ヲ爲スヘシトアリ又第二十七條

ニハ若シ危險切迫シテ本法ヲ履行シ能ハサル特殊ノ場合ニ於テハ其危險ヲ避クル爲メ臨機ノ處置ヲ爲スコトニ注意スヘシトアルヲ見レハ決シテ絶對的ト云フモノニアラス場合ニヨリ臨機ノ處置ヲナサテハナリマセヌ

⑫ 他船ノ航路ヲ避クルニ就キ心得置クヘキ規定アルカ

⑬ 第二十二條ニ成ヘク他船ノ前面ヲ横切ルヘカラストアリマス

⑭ 航路ヲ避クヘキ汽船他船ニ接近シタルトキ遵守スヘキ措置ハナキカ

⑮ 第二十三條ニ他船ノ航路ヲ避クヘキ汽船他船ニ近寄りタルトキハ時宜ニ應シテ速力ヲ緩メ若ハ運轉ヲ止メ又ハ後退スヘシト規定シテアリマス

⑯ 二艘ノ船カ接近シテ衝突ノ虞アル場合ニハ以上規定ノ替シ方ノ外別ニ異リタル規定ハナキカ

⑰ 有リマス航行中ノ帆船ハ第二十六條ニ依リ漁業ニ従事シ居ル船ヲ替サ

- 子ハナラス又他船ヲ追越ストキハ汽船帆船ノ別ナク追越サントスル船
- ハ第二十四條ニ依リ他船ヲ替シ行カ子ハナリマセヌ
- 航行中ノ帆船ハ総テノ漁船ヲ替シ行クヘキ規定ナルカ
- 網或ハ繩ヲ用キテ漁業ニ従事シ居ル帆船ノ航路ノミヲ替スヘキ譯ニテ
- 網ヲ揚ケ運行シ居ルモノ迄モ替シ行クヘキ譯デアリマセン (第二十六條)
- 追越船トハ眞艦ヨリ追及シ來ル船ノミヲイフモノカ
- 否ナ正横後二點以外即チ夜間ナレハ舷燈ノ見難キ位置ヨリ追及シ來ル
- 船ハ總テ追越船ト云フモノデアリマス
- 夜間ハ舷燈ノ射光ニヨリ正横後二點ノ内外ヲ判知スヘキモ晝間ハ其内
- 外ヲ如何シテ區別スルカ
- 晝間ハ區別判明ナラサルヲ以テ後ヨリ他船ヲ追抜カントスル船ヲ總テ
- 追越船ト見做シマス
- 帆船ハ曳船ノ汽船ニ對シテ航路ヲ替スヘキ義務アルカ

- 霧中ノ外ハ替スヘキ義務アリマセヌ
- 何故ニ霧中ノミ替スヘキ義務アルカ
- 運轉自由ヲ得サル船ナルカ電信工事ニ掛リ居ル船ナルカ判定シ能サル
- 爲メナリ
- 獨走ノ汽船ハ曳船ノ汽船ニ對シテ航路ヲ替スヘキ義務アルカ
- 別ニ替スヘキ明文ナキニヨリ獨走船ノ出會ト同様ニ權利義務ヲ定ムル
- 外アリマセン
- 兩船互ニ近寄り衝突ノ虞アル場合ノ替シ方ハ上來述ヘタル外規定ハナ
- キヤ
- 外ニ規定ハアリマセン

### 霧中兩帆船ノ出會

西北西ノ風ヲ受ケ北ニ向テ霧中帆走ニ際シ右舷船首ニ方リ霧中號角一

聲ヲ聞キタルトキハ其他船ハ我船ト如何ナル狀ニ出會スルカ若シ近寄リ衝突ノ虞アル場合ニハ如何ナル措置ヲナスヘキカ

他船ハ南西ニ向フ右舷詰開キカ右舷眞横受ケ南々西迄ノ二點間ニ針路ヲ取り我航路ヲ横切ル方向ニ進航シ來ルモノナリ故ニ若シ他船ノ音響ヲ右舷船首四點以內ニ在リテ詰開キニ航走スルモノナルトキハ我カ前面ヲ横切り來ルモノナルニヨリ我船ハ第十七條第二項ノ義務ヲ以テ他船ノ航路ヲ替ス覺悟ヲナサテハナリマセン

霧中西北西ノ風ヲ受ケ北ニ向テ帆走中右舷船首ニ當リ霧中號角三聲ヲ聞キタルトキハ自船ハ如何ナル所置ヲナスカ

他船ハ北々東少シク東ヨリ東南東ヲ經南々西少シク南迄ノ約十六點間ノ區域内ニ針路ヲ取り帆走スルモノニテ恐ク衝突ノ危険ナキモノデア

ル故ニ我船ハ其儘針路速力ヲ保チマス

東北東風ヲ右舷一杯開ニ受ケ帆走中右舷船首ニ方リ霧中號角三聲ヲ聞キタルトキハ如何ナスカ

他船ハ南々東以南ヨリ西方ヲ經北々西以西ノ幾ント十六點間ニ向テ航行スルモノニテ我前面ヲ横切り來ルトキハ衝突ノ危険計リ難ケレトモ我船ハ右舷詰開ニアリ他船ハ正横後ニ風ヲ受クルモノナルニヨリ我船ハ其儘針路速力ヲ保テ進行シテ差支アリマセヌ

左舷正横ニ風ヲ受ケ帆走中前面ニ聞キタル霧中號角一聲ニ對シテハ如何ナスカ

他船ハ我船ノ左舷ニ替リ行クカ否サレハ眞向或ハ幾ント眞向ニ出會スル船ニテ我船ハ左舷ニ風ヲ受クルニヨリ第十七條第三項ノ義務ヲ以テ他船ノ航路ヲ避ケテハナリマセヌ

其時他船ノ航路ヲ避クルニハ如何ニ替スカ  
舵柄ヲ上手ニ取り他船ノ下手ニ替ル様ナシマス  
西風ヲ受ケ北ニ向テ帆走中前面ニ方リ霧中號角二聲ヲ發スル他船ハ如

何ナル方向ニ來ルモノカ其トキ我船ハ他船ニ對シテ如何ナル措置ヲ取  
ルカ

他船ハ正横前ニ風ヲ受ケテ帆走スルモノナレハ風上ニ替リ行クヘシ若  
シ正横ニ風ヲ受ケ我ト航路ヲ同フシテ速力遅緩ナレハ我船ハ他船ヲ追  
越シ行クモノナルニヨリ第二十四條ニ依リ他船ヲ替サテハナリマセヌ  
左舷正横ニ風ヲ受ケ帆走中左舷船首ニ方ル一聲及二聲ノ霧中號角ニ對  
シテハ如何ナスカ

皆替リ行ク船ナルニヨリ我ハ懸念ナク針路速力ヲ保チマス

南西ノ風ヲ受ケ北西ニ向テ帆走中右舷正横前ニ方ル何聲ノ號角ハ衝突  
ノ危険アリト思フカ

二聲ノ信號ヲナス他船正横前ニ風ヲ受ケ接近シ來ルトキハ風下ヨリ我  
前面ヲ横切ルモノナルニヨリ若シ衝突ノ危険アルトキハ我船ハ風上ノ  
義務ヲ以テ第十七條第四項ニ依リ他船ヲ替シ行カテハナラヌ一聲三聲

ノ信號ハ悉ク替リ行クヘキ針路ヲ取り航走スル船ナルニヨリ衝突ノ虞  
アルコトナシ我船ハ其儘懸念ナク進行シテ差支アリマセン

南東ノ風ヲ受ケ西ニ向テ航行中左舷船首ニ方ル一聲ノ霧中號角ハ如何  
ナル船ト思惟スルカ其時他船ト接近スレハ孰レノ船ニ於テ航路ヲ避ク  
ヘキ義務アルカ

他船ハ東北東ノ一杯開キカ北東ノ正横受ケノ二點間ニ向テ針路ヲ取り  
我前面ヲ左舷ヨリ右舷ニ横切ルモノナルニヨリ我船ハ第十七條第一項  
若クハ第三項ノ義務ヲ守リ他船ノ航路ヲ避ケテハナリマセン

北ノ風ニ南東ニ向テ帆走中左舷正横前ニ方ル霧中號角ノ三聲ヲ聞キタ  
ルトキハ如何ナスカ

其音響四五點ニ當ルトキハ第十七條第三項ノ義務ヲ守リ針路ヲ左轉シ  
テ他船ヲ替ス手段ヲ取ル覺悟ヲナサテハナリマセヌ併シ正横前一二點  
ニ當ルトキハ倉皇針路ヲ轉スルコトハ宜敷アリマセヌ如何トナレハ他



船ハ右舷受ケナルカ船尾風ヲ受クルモノナルカ判明シ難シ他船果シテ右舷受ケナレハ我船ハ他船ヲ替サテハナラス若シ他船々尾風ヲ受クルモノナレハ他船ニ於テ我カ航路ヲ替スヘキデアリマス然ルニ他船我カ正横前一二點ノ處ヨリ我船ト速力格別ノ差ナク我前面ヲ横切リ衝突點ニ向テ接近スルモノナレハ其他船ハ恐ラク船尾風ヲ受ケ進行シ來ルモノデアリマス若シ其場合ニ我船ハ左舷受ケノ義務ト速斷シテ倉皇針路ヲ左轉シ同時ニ他船ハ船尾風ノ義務ヲ守リ我カ船尾ヲ替行カント右轉ヲナシタルトキハ却テ危險ノ地位ニ陥ルコトナリマス故ニ斯ノ如キ場合ニハ注意シテ進行シ若シ衝突ノ危險アルヲ認メタルトキハ我船ハ強ク右轉ヲナス方安全ノ策デアリマス

東風ヲ右舷ニ受ケ北西ニ向テ帆走中右舷船首ニ方ル霧中號角三聲ヲ鳴ス船ハ我船ト如何ニ出會シ我船ハ其船ニ對シテ如何ナル措置ヲ取ルヘキカ

他船南西間ニ針路ヲ取り我カ前面ヲ右舷ヨリ左舷ニ横切リ帆走シ來ルコトアルモ我船ハ右舷ニ風ヲ受ケ他船ハ第十七條第三項ノ義務ヲ守ルヘキモノナルニヨリ我ハ第二十一條第一項ヲ守リ針路速力ヲ保チ行クモノデアリマス

北東ノ風ヲ受ケ西ニ向テ帆走中左舷正横前ニ方ル霧中號角一聲ヲ聞キタルトキハ如何ナスカ

他船ハ右舷詰開若クハ右舷正横前ノ風ヲ受ケ我カ前面ヲ横切ルモノナルニヨリ若シ接近衝突ノ虞アル場合ニハ我船ハ第十七條第一項第四項ニ依リ他船ノ航路ヲ替シ行カテハナリマセヌ

其時ハ孰レニ替スヲ安全トスルカ

船首ヲ右轉シテ風上ニ溯向或ハ踟躕シテ他ノ船ヲ通シマス

北風ヲ受ケ南々東ニ向テ帆走中右舷船首ニ方ル二聲ノ霧中號角ニ對シテハ其儘進行シテ差支ナキカ

- ◎ 他船ハ風ヲ左舷開ニ受ケ航走スル帆船ニテ我前面ヲ右舷ヨリ左舷ニ横切ルモノナルニヨリ我船ハ船尾風ノ義務ヲ以テ第十七條第五項ニヨリ他船ヲ替シ行クヘキモノデアリマス
- ◎ 同前ノ場合ニ一聲ノ號角ナレハ如何
- ◎ 其儘進行シテ差支アリマセヌ
- ◎ 東風ヲ受ケ北ニ向テ航行中前面ニ當リ號角一聲ニ續キ號鐘ヲ聞キタルトキハ如何ナスヤ
- ◎ 漁船ナル故風下ニ替シ行カ子ハナリマセン
- ◎ 一杯ニ開キ風上ニ替シテハ如何
- ◎ 風上ニハ網アルモノト思ハレマス

霧中帆船ト汽船ノ出會

- ◎ 北風ヲ受ケ南ニ向テ帆走中前面ニ當リ汽笛長聲一發ヲ聞キタルトキハ如何ナスカ
- ◎ 第二十條ニ依リ他船ハ我船ノ航路ヲ替スヘキモノナルニヨリ我船ハ其儘針路速力ヲ保チ進行シマス
- ◎ 眞艦ノ風ヲ受ケ南ニ向テ帆走中前面ニ方リ汽笛長聲二發ヲ聞キタルトキハ如何ナスカ
- ◎ 霧中信號ヲナシ其儘進行シマス
- ◎ 其他船ハ何船ト思惟スルカ
- ◎ 運轉ヲ止メ速力ヲ有タサル汽船ト思ヒマス
- ◎ 靜止セルモノニ對シテ其儘進行ヲ繼續シテ危險ナラヌカ
- ◎ 他船ハ便宜上運轉ヲ停止シ居リ未タ汽船ノ資格ヲ失ハサルモノナルニヨリ帆船ニ對シ衝突ノ危險アルトキハ第二十條ノ義務ヲ守リ速力ニ運轉ヲ始メテ我航路ヲ適宜ニ替スヘキ筈デアリマス
- ◎ 東風ヲ受ケ正西ニ針シテ帆走中前面ニ方リ汽笛長短々ノ三連發ヲ聞キ

- タルトキ其儘針路速力ヲ保チ進行スヘキカ
- ◎ 其他船ハ事變ノ爲メ運轉自由ヲ得サルカ海底電線ノ工事ニ掛リ居ルカ否サレハ曳船ヲナシテ航行スル汽船ナル故篤ト其動靜ヲ慥メ他船ノ航路ヲ避テ行クヘキ覺悟ヲナサテハナリマセヌ
- ◎ 右舷詰開ニ風ヲ受ケ帆走中前面ニ接近シテ汽笛短聲一發ヲ聞キタルトキハ如何ナスカ
- ◎ 舵ヲ狂ハサヌ様針路ヲ眞直ニ保チマス
- ◎ 霧中東風ヲ受ケ西ニ向ケ航行中前面ニ當リ汽笛一聲續テ號鐘ヲ聞キタルトキハ如何ナスヤ
- ◎ 夫レハ漁業ニ従事シ居ル汽船ナル故其儘進行シテ差支アリマセヌ
- ◎ 帆船ハ漁船ヲ替スヘキ規定ニアラサルカ
- ◎ 第二十六條ノ明文ニヨレハ帆船ノ替スヘキハ漁業ニ従事スル帆船ニ限リマス

### 帆船前面ニ方ル雜信號

- ◎ 船尾ノ風ヲ受ケ航走中前面ニ當リ音響信號ヲ聞キタルトキハ何船ト思フカ
- ◎ 其他船ハ総積量二十噸未滿ノ帆船第十五條末項ノ規定ニヨリ信號ヲナシツ、航走スルモノナルカ、漁業ニ従事シ居ル船ナル故音響ニ注意シテ適宜其他船ヲ替スヘキ所置ヲ取ラテハナリマセヌ
- ◎ 若シ其時我船右舷正横ノ風ヲ受ケ航行シアレハ何レノ方ヘ針路ヲ轉シ替スヘキカ
- ◎ 必ス他船ノ風下ニ替シ行ク様ナシマス
- ◎ 何故風下ニ替スカ
- ◎ 若シ漁業ニ従事スル船ナレハ其風上ニハ網或ハ繩ヲ曳キテ居ルヘキニ因テ下手ニ替スノデアリマス

霧中航行ニ際シ俄然前面ニ方リ爆裂信號ノ音響ヲ聞キタルトキハ如何  
ナスカ

其音響ヲ避ケ得ル様船首ヲ適宜ニ轉シ其信號ハ難船信號ニアラサルカ  
ヲ注意シテ聞定メマス

夫レハ如何ナル信號ト思惟スルカ

難船信號ニアラサレハ第十二條ニ依リ注意ヲ喚起シタル信號デアリマ  
ス

### 難船信號

難船信號トハ如何ナル合圖ヲ云フカ

遭難ノ船舶カ救助ヲ要スルトキ第三十一條ノ規定ニ從テ爲スヘキ信號  
デアリマス

其信號ハ如何ニナスカ

晝間ト夜間ト違ヒマス晝間ナレハ左ノ五種デス

一 大約一分時ノ間隔ニ大砲又ハ其他ノ爆裂發火信號ノ一發

二 NCノ二旗信號掲揚

三 方形旗ノ上若クハ下ニ球若クハ類似ノモノヲ連掲シテ遠距離信  
號ノ表示

四 霧中信號器ヲ以テ間斷ナキ音響ノ續發

以上ノ信號ヲ同時又ハ別々ニ使用イタシマス

外ニ萬國信號法ニヨリ増加シタル尖端ヲ上ニシタル圓錐形ノ上  
カ下ニ球若クハ類似ノモノ連掲ノ表示カアリマス

夜間ノ難船信號ハ如何

夜間ハ左ノ四種ヲ同時又ハ別々ニナシマス

一 晝間ノ信號ト同様砲又ハ爆裂發火信號ノ一發

二 船上ノ發焰(タール桶、油樽等ヲ燃燒スルノ類)

- 三 星火ヲ發スル榴彈或ハ火箭ヲ一次一發ツ、度々ノ打揚ケ
- 四 霧中信號器ヲ以テ間斷ナク音響ノ續發

霧中信號ニ對スル汽船ノ措置

- 問 汽船霧中航行中前面ニ方リ汽船ノ航行信號ヲ聞キタルトキハ如何ナスカ
- 答 其所在分明ナラサルトキハ第十六條ヲ守リ直チニ機關ヲ緩メ或ハ停止シテ他船ノ動靜ヲ伺ヒマス
- 問 他船ノ動靜ヲ憚ムル猶豫アラサル程近距離ナルトキハ如何ナスカ
- 答 八點旋轉法ヲ行フカ全速力後退ヲナシマス
- 問 八點旋轉法トハ如何
- 答 急ニ船ヲ右或ハ左ニ八點回頭シ夫レニテモ尙ホ危險ヲ免レスト認ムレハ又八點回頭ヲナス法デアリマス

- 問 汽船霧中航行中前面ニ方リ二長聲ノ汽笛ニ對シテハ如何ナスカ
- 答 適宜ニ船首ヲ轉シテ替シ行キマス
- 問 其船ハ何船ト思惟スルカ
- 答 運轉ヲ止メ速力ヲ有タサル汽船デアリマス
- 問 汽船霧中航行中前面ニ方リ汽笛長短々ノ三連聲ヲ聞キタルトキハ如何ナスカ
- 答 第十六條ヲ守リ運航ニ注意シテ他船ノ何船ナルカヲ考ヘマス
- 問 夫レハ何故ナルカ
- 答 長短々ノ信號ハ事變ノ爲メ運轉自由ヲ得サルモノナルカ海底電線工事に從事シ居ルモノナルカ又ハ他船ヲ曳キ航行スルモノナルカノ孰レナルカヲ考ヘナケレハナリマセン
- 問 左様ノ船ニ對シテ獨走ノ汽船ハ針路ヲ避クヘキ義務アルカ
- 答 然リ替シ行クヘキデアリマス

- 問 豫防法中獨走ノ汽船ハ引船ノ航路ヲ避クヘキ明文ハアルカ
- 答 獨走ノ汽船ハ引船ノ航路ヲ避クヘシトノ明文ハナキモ他船ノ航路ヲ避ケ能ハサルモノト同一ノ信號ヲナスモノナルニ由リ霧中長短々ノ信號ニ對シテハ皆同様ニ替シ行クヘキ覺悟ヲナサテハナリマセン
- 問 汽船霧中航行中右舷船首ニ方リ汽笛長聲一發ヲ聞キタルトキハ如何ナスカ
- 答 其音響漸次前面ニ迫リ來ルカ著シキ方向ノ變更ヲ認メサルトキハ其音聲ヲ左舷ニナスマデ船首ヲ轉シテ進行シマス
- 問 汽船霧中航行中左舷正横前若クハ左舷船首ニ霧中信號ノ汽笛長聲一發ヲ聞キタルトキハ如何ナスカ
- 答 注意シテ針路ヲ保チテ徐進シマス
- 問 何故其儘進行シテモ差支ナキカ
- 答 他船若シ我船ノ前面ヲ横切り來ルトキハ我船ハ他船ヲ左舷ニ他船ハ我

- 船ヲ右舷ニ見ル位置ニアルモノデアリマス
- 問 汽船霧中右舷正横前ニ風ヲ受ケ航行中左舷船首ニ方リ霧中號角一聲ヲ聞キタルトキハ如何ナスカ
- 答 場合ニヨリ右轉シテ他船ヲ替シ行ク方向ヲ取リマス
- 問 若シ其信號二聲ナルトキハ如何ナスカ
- 答 當時ノ風位ヲ考ヘ船首ヲ横切り來ルカ船尾ニ替リ行クカヲ判定シ船首ヲ横切り來ルトキハ他船ノ航路ヲ替ス手段ヲ取リ若シ疑シキトキハ機關ヲ停止又ハ後退シテ他船ノ動靜ヲ窺ヒマス
- 問 汽船霧中右舷正横後二點ニ風ヲ受ケ航行中左舷四點内外ニ方リ霧中號角二聲ヲ聞キタルトキハ如何ナスカ
- 答 其儘進行シテ差支アリマセス
- 問 汽船霧中北風ヲ受ケ東ニ向テ航行中北東方ニ方リ霧中號角二聲ヲ聞キタルトキハ如何ナスカ

其儘進行シマス如何トナレハ他船ハ左舷開キニ風ヲ受ケ東北東ヨリ我船ト同針正東迄ノ約二點間ニ向テ航走スル帆船ニテ衝突ノ虞レナキモノデアリマス

霧中船尾ニ風ヲ受ケ航行ノ汽船右舷船首ニ方リ霧中號角三聲ヲ聞キタルトキハ如何ナスカ

先ツ進行ヲ緩ニシ場合ニヨリ機關ノ運轉ヲ停止シテ其船ハ替リ行ク針路ニ航走セルモノナルカ果タ我カ前面ヲ横切リ來ルカヲ判斷シ適宜航路ヲ避クル手段ヲ取リマス

霧中船尾ニ風ヲ受ケ航行ノ汽船右舷船首ニ一聲左舷船首ニ二聲ノ霧中號角ヲ聞キタルトキハ如何ナスカ

其儘進行シマス如何トナレハ兩船共ニ替リ行キ毫モ衝突ノ虞ナキモノデアリマス

同前ノ場合ニ右舷ノモノハ二聲左舷ノモノハ一聲ナルトキハ如何ナス

カ

狀況ヲ見定ムルマデ運航ニ注意シ右舷ノ二聲ヲ左舷ニ左舷ノ一聲ヲ右舷ニ聞クマデ進行ヲ停止シテ替ス手段ヲ取リマス

眞艦ニ風ヲ受ケ霧中航行ノ汽船眞艦ニ方リ霧中號角三聲追々接近シ來ルトキハ如何ナスカ

適宜衝突ヲ避クル手段ヲ取ラナケレハナリマセヌ

船尾ヨリ追越シ來ルモノニ對シテ針路ヲ避クヘキ義務アルカ

霧中咫尺ヲ辨セサル場合ニ帆船ニ於テハ汽船ハ如何ナル方位ニ向ヒ居ルヲ推知シ能ハサルモノナレハ帆船ニ於テ追越船ト思ハスシテ接近シ來ルトキハ汽船ニ於テ第二十一條但書ノ義務ヲ盡スヘキデアリマス

汽船霧中北風ニ向テ航行中前面ニ間近ク霧中號角三聲ヲ聞キタルトキハ如何ナル措置ヲナスカ

機關ヲ緩ルメ或ハ停止シテ他船ノ動靜ヲ窺ヒ適宜他船ノ航路ヲ替ス手

段ヲ取ラナケレハナリマセン

問 汽船霧中北風ニ向テ航行中前面ニ當リ間近ノ霧中號角一聲ヲ聞キタルトキハ如何ナスカ

答 他船ノ信號ヲ正首若シクハ少シク左舷ニ聞クマデ船首ヲ右轉シテ進行シマス

問 霧中南西ノ風ヲ受ケ北ニ向テ航行ノ汽船左舷船首ニ方リ霧中號角二聲ヲ聞キタルトキハ如何ナスカ

答 他船ハ西北西ヨリ北西ノ間ニ向テ帆走シ替リ行クモノナルニヨリ本船ハ懸念ナク進行シマス

問 霧中南東ノ風ヲ受ケ南ニ向テ航行ノ汽船南西イ西ノ方位ニ當リ霧中號角三聲ヲ聞キタルトキハ如何ナスカ

答 其儘針路速力ヲ保チ行クモ更ニ危険ハアリマセヌ  
霧中南風ヲ受ケ南ニ向テ航行ノ汽船右舷ニ二聲左舷ニ一聲ヲ聞キタル

トキハ如何ナスカ

懸念ナク其儘進行シマス

問 同前ノ場合ニ右舷ノ號角一聲左舷ノ號角二聲ナルトキ如何ナスカ

答 一聲ヲ左舷ニ二聲ヲ右舷ニ聞クマデ機關ヲ停止シテ運行ヲ止メマス

問 汽船正首ニ當リ音響信號ヲ聞キタルトキハ如何ナスカ

答 直チニ機關ヲ停止シ若クハ後退ヲナシマス

### 航方ノ適用

問 夜間航行中他船ノ燈火ヲ見タルトキハ第一着ニ注意スヘキハ如何ナルコトナルカ

答 其燈火ハ如何ナル船ノ燈ナルカ次ニ其船ハ替リ行クヘキモノナルカ又横切リ來ル船ナルカヲ考ヘ他船ハ如何ナル方向ニ航進スルモノナルカ終リニ衝突ノ危険アルヤ否ヤヲ判斷イタシマス



問 他船ノ航進スル方向ハ如何シテ豫知スルカ

答 船舶ノ表示シタル船燈ハ正首ヨリ左右十點ツ、ヲ照スヘキモノナルニ因リ一舷燈ノ光輝ハ船首十點間回轉スル間變更スルコトナシ假令ハ北ニ紅燈ヲ表ス船ハ北ノ幾ント反對ノ南少シク西方ヨリ西北西迄ノ約十點間回轉スル間ハ紅燈ヲ見得ヘキ筈ナル故北ニ方リテ紅燈ヲ表ス船ハ南稍ヤ西ヨリ西北西ノ十點間内ニ向ヒ居ルコトヲ豫知セラレマス

問 其航進區域ヲ考フルニ簡易ナル方法ナキカ

答 燈ノ方位ニ向ヒ綠燈ナレハ右ヘ紅燈ナレハ左ノ六點目ニ當ル所ヨリ燈火ノ方位ノ反對點迄ノ十點ハ其船ノ針路區域ト考フレハ容易デアリマス

問 若シ兩舷燈ヲ同時ニ見タルトキノ方向ハ如何

答 其方位ノ正反對ノ一方位ニ向ヒ居ルモノデアリマス

問 他船ハ自船ノ前面ヲ横切ル針路ニ航進スルモノナレハ衝突ノ虞アルモ

ノト見做スヘキカ

答 否航方ノ前提ニモ示ス通り其方位儘カニ變更セサルトキハ兩船衝突點ニ向テ接近スルモノデアリマス

問 甲船航行中右舷船首二點ニ乙船ノ紅燈ヲ認メ其方位變更セス接近スル

トキハ此兩船如何ナル状態ニ衝突點ニ相會スルヤ

答 兩船同速力トスレハ十二點ノ交叉角ヲ以テ相會シ若シ乙船ノ速力早クシテ甲船ノ二倍トスレハ約十三點ノ交叉角ニ相會シ一倍半トスレハ十二點四分ノ三ノ交角ニ相會スヘシ又乙船ノ速力遅クシテ甲船ノ三分ノ二トスレハ少ナル交角約十一點ニ出會スヘシ

問 北ニ向テ航行中正面ニ方リ汽船ノ綠燈ヲ見タルトキハ其船ハ如何ナル

針路ニ進行スルモノナルカ

答 北ノ正反對點南ヨリ北ノ右六點目ノ東北東迄約十點間ハ綠燈ヲ表ス他船ノ向ヒ居ルヘキ針路區域ト推定シマス

問 北ニ向テ航行中正面ニ當リ汽船ノ兩舷燈ヲ見タルトキハ其他船ハ如何ナル針路ニ航進スルモノナルカ

答 北ノ正反對點正南ノ一點ニ向ヒ居ルモノデアリマス

問 北東ニ方リ汽船ノ紅燈ヲ見タルトハ其船如何ナル區域ニ針路ヲ取ルモノナルカ

答 南西稍ヤ西ヨリ北々西ノ約十點間ニ向テ航行スル汽船デアリマス

問 帆船ノ針路區域モ汽船ト同様ノ操リ方デ宜シキカ

答 横帆裝置ノ船ハ一杯開キニナシ六點迄溯向スルヲ普通トナスカ故汽船ノ如クニシテ求メタル進航區域カ風位ヨリ左右六點即チ十二點間ニ關係アルヤ否ヤヲ考ヘ若シ關係アレハ夫レ丈ケヲ控除シ殘リノ點數ヲ以テ其船ノ進航區域トナシマス

問 風位カ舷燈ノ射光區域ニ關係ナキヤ否ヤヲ簡短ニ辨知スル法ナキカ

答 其風位カ舷燈ノ方位ヨリ綠燈ナレハ左方紅燈ナレハ右方十點以內ニアル

トキハ舷燈ノ射照區域ニ關係ナキモノデアリマス

問 東北東ノ風ヲ受ケ北ニ向テ航走中左舷船首二點ニ當リ綠燈ヲ認メタルトキハ其他船ハ如何ナル方向ニ進行シ來ルモノナルカ

答 綠燈ヲ表示シタル他船汽船ナレハ南々東ヨリ北東ノ十點間ニ向フヘキモノナレトモ東北東ノ風ヲ受クル帆船ナル故風位ヨリ左右六點ツ、ヲ控除シ殘ル點數南々東ヨリ南東迄ノ僅カニ二點ハ其帆船ノ針路區域デアリマス

問 東風ヲ受ケ北ニ向テ航行ノトキ左舷五點ニ他船ノ綠燈ヲ見タルトキハ其船ハ如何ナル方向ニ航行スルモノデアルカ

答 綠燈ヲ表示スル他船ハ汽船ナレハ南東イ東ヨリ北イ東ノ十點間ニ向フヘキモノナレトモ帆船ナレハ風位ヨリ左右六點間ハ詰開界限ナル故北々東ヨリ北イ東ノ僅カニ一點間ノ區域内ニ向テ居ルモノデアリマス

兩帆船ノ出會

問 東北東ノ風ヲ受ケ北ニ向テ航行中左舷船首二点ニ方リ帆船ノ綠燈ヲ見タルトキハ他船ハ如何ナル方向ニ進ミ來ルヤ若シ接近衝突ノ虞アルトキハ我船如何ナル措置ヲナスヘキカ

答 他船ハ南々東ノ稍ヤ東方ヨリ南東ノ針路ヲ取り前面ヲ横切り來ル帆船ニテ兩船ノ航路互ニ交叉シ危險ノ虞アレトモ我船ハ右舷詰開ナルヲ以テ他船ノ航路ヲ替スヘキ義務ナシ其儘針路速力ヲ保チテ進行シテ差支アリマセヌ

問 西南西ノ風ヲ受ケ南ニ向テ航行中右舷船首三点ニ方リ帆船ノ紅燈ヲ認メタリ其他船ハ我船ト如何ナル狀ニ出會スルカ若シ衝突ノ危險アル場合ニハ自船ハ如何ナル所置ヲ探ルカ

答 他船ハ北東イ北ヨリ南東イ南マテ約十点ノ間ニ針路ヲ取り左舷若シク

ハ船尾ニ風ヲ受ケ我カ前面ヲ右舷ヨリ左舷ニ横切り危險点ニ向テ接近セル帆船デアリマス若シ衝突ノ虞アルモ我船ハ他船ヲ替スヘキ義務ナキモノデアリマス

問 西北西ノ風ヲ受ケ北ニ向テ航行中右舷船首二点ニ當リ帆船ノ紅燈ヲ認メタリ其他船ハ如何ナル針路ヲ取り如何ナル狀ニ接近スルモノデアルカ若シ衝突ノ危險アラントスルトキハ自船ノ爲ス可キ當然ノ所置ハ如何

答 他船ハ右舷開ニ風ヲ受ケ南々西少シク西方ヨリ南西迄ノ約二点間ニ針路ヲ取り進行シ來ル帆船デアリマス他船方位ノ反對點即チ南々西ニ近ク針路ヲ取ルモノナレハ最早ヤ我船尾ニ替リタルモノナレトモ詰開キノ南西ニ近ク針路ヲ取り來ルトキハ我カ前面ヲ横切り危險点ニ向テ接近スルモノデアリマス此際若シ衝突ノ虞アルトキハ我船ハ左舷開キナルヲ以テ第十七條第二項ノ義務ヲ以テ他船ノ航路ヲ替シテ行カチハナ

- 問 同前ノ場合ニ於テ其紅燈ノ方位右舷四点ナルトキハ如何
- 答 紅燈ヲ表示スル他船ハ右舷詰開ノ極限ニ向ヒ居ルモノナル故暫時其方位ヲ注視シ兩舷燈ヲ見ルニ至ラハ其儘進行シテ差支アリマセン
- 問 東南東ノ風ヲ受ケ南ニ針シテ航進中左舷三点ニ方リ帆船ノ綠燈ヲ見タルトキハ其船ハ如何ナル方向ニ進行シ如何ナル狀ニ我船ト出會スヘキヤ若シ接近衝突ノ虞アルトキハ自船ハ如何ナル措置ヲナスヘキカ
- 答 他船ハ北西イ北ノ稍ヤ西方ヨリ南西イ南ノ約十点ノ間ニ向テ我前面ヲ左舷ヨリ右舷ニ横切り航走スル帆船デアリマス此際若シ衝突ノ虞アルモ我船ハ左舷詰開ニ風ヲ受ケ他船ハ一杯ニ開カサルモノナル故他船ハ第十七條第一項ニ依リ我船ノ航路ヲ避クヘキ義務カアリマス
- 問 西風ヲ右舷眞横ニ受ケ航行ノ際左舷船首一点ニ帆船ノ綠燈ヲ見タルトキハ其船ハ如何ナル方向ニ航行シアルカ衝突ノ虞レナキカ若シ兩船接

- 近衝突ノ虞アリトセハ自船ハ他船ノ航路ヲ替スヘキ義務アルカ
- 答 他船ハ左舷詰開キトナシ北々西ニ向テ航行スルモノナルトキハ我カ針路ト二点ノ交叉角ヲ以テ我前面ヲ横切ルノ危険アリ斯ル場合ニハ第十七條第一項ノ義務ヲ以テ他船ノ航路ヲ避ケテハナリマセヌ
- 問 東風ヲ右舷正横ニ受ケ北ニ向テ航行ニ際シ帆船ノ綠燈ヲ西北西ニ見タル然ルトキハ其船ハ如何ナル針路ヲ取リ如何ナル狀ニ我船ト出會スルヤ若シ接近衝突ノ虞アルトキハ自船ハ如何ナル措置ヲナスヘキカ
- 答 他船ハ我船ト幾ント全針路ニ航行スルカ東風ヲ詰開ニ受ケ北々東ニ向テ航進スルモノナルヘシ我船ト同針路ヲ取リ北ニ向テ航行スルトキハ衝突ノ危険アルコトナケレトモ若シ東方ニ開キタル針路ヲ採リ進行スルトキハ左舷ヨリ右舷ヘ斜メニ我前面ヲ横切ルニヨリ我船ト同舷ノ風ヲ受ケ風上ニアルヲ以テ第十七條第四項ノ義務ヲ守リ他船ノ航路ヲ避クヘキデアリマス